

福祉施設入所者の地域生活移行に関するニーズ調査

報 告 書

(名 古 屋 市 版)

令和5年12月

名古屋市健康福祉局障害福祉部障害者支援課

1. 調査の概要

(1) 調査の趣旨・目的

福祉施設に入所している方のニーズやその方を取り巻く状況の把握を通じて、地域生活への移行に関する課題の整理や今後の取組施策の検討、さらには、今年度策定する第7期障害福祉計画における成果目標の設定の際の参考資料とするため。

(2) 実施主体

愛知県、名古屋市

(3) 調査対象

令和5年3月1日現在、県内の障害者支援施設(73施設のうち、対象外施設を除く70施設)に入所している方のうち、県内市町村で支給決定を受けている方(3,674人)。うち、名古屋市支給決定者(925人)。

※ 対象外施設

公立施設(名古屋市あけぼの学園、名古屋市総合リハビリテーションセンター)及び米山寮盲児部

(4) 調査基準日等

調査基準日: 令和5年3月1日

調査期間: 令和5年3月～4月(提出期限: 令和5年5月19日)

(5) 調査内容

調査区分	調査内容
1. 基本属性	問1 性別 問2 入所時の年齢 問3 現在の年齢 問4 支給決定市町村名 問5 入所期間(入所年月日) 問6 主な障害種別 問7 障害支援区分 問8 成年後見制度の利用状況 問9 令和2年度に実施したニーズ調査(追加調査)との関係
2. 地域生活移行に関する状況	問10 記入者の職種 問11 ご本人に対する地域生活移行に向けた取組 問12 ご家族に対する地域生活移行に向けた取組 問13 地域生活移行の可能性 問14 (問13関係)地域生活移行が困難な理由 問15 (問14関係)地域生活移行に当たり不足しているサービスや支援 問16 地域生活移行に当たり特に調整を要する事項(課題)
3. ご家族等の意向	問17 地域生活移行に関するご家族の意向
4. ご本人のニーズ等	問18 聴き取り者の職種 問19 意思表示の聴き取り(読み取り)の可否 問20 地域生活移行に向けた取組の経験 問21 ご本人が希望する暮らし 問22 (問21関係)今いる施設で生活したい理由 問23 (問21関係)希望する暮らしの具体的な種類 問24 (問21関係)希望する暮らしの具体的な地域 問25 (問21関係)希望する暮らしがわからない理由 問26 自分らしい暮らしを実現するために望むこと

(6) 調査方法

対象施設(70か所)に対し調査票等をメールで送付の上、施設職員等が入所者一人一人の状況について回答を行った。なお、「ご本人のニーズ等」については、施設職員等がご本人に聴き取りの上行うこととしたが、施設職員の負担を勘案し、ご本人の意思表示を読み取ることが可能な場合のみ、回答を求めた。

(7) 調査票回収状況

100%(ただし、任意調査のため、設問によっては未回答あり。)

2. 調査の結果

1. 基本属性 …職員回答

問1 性別

この方の性別は？（1つだけ選択）

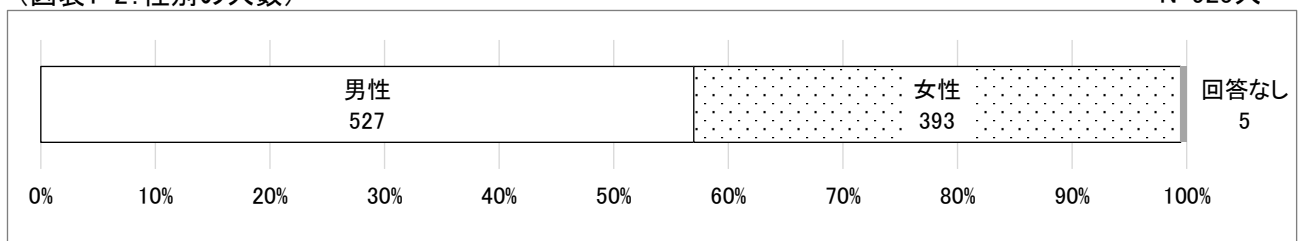
入所者の性別は、「男性」(527人、57.0%)が「女性」(393人、42.5%)より多くなっています。

(図表1-1:性別の人数と割合)

区分	人数	割合
男性	527	57.0%
女性	393	42.5%
回答なし	5	0.5%
合計	925	100.0%

(図表1-2:性別の人数)

N=925人



問2 入所時の年齢

この方の入所時の年齢は？

入所時の年齢は、「20歳～29歳」(234人、25.3%)が最も多く、次いで「30歳～39歳」(200人、21.6%)となっており、全体の半数以上が39歳以下(552人、59.6%)で入所しています。

入所時の平均年齢は36.7歳で、令和2年3月に実施した前回調査時の38.2歳より1.5歳下回っています。

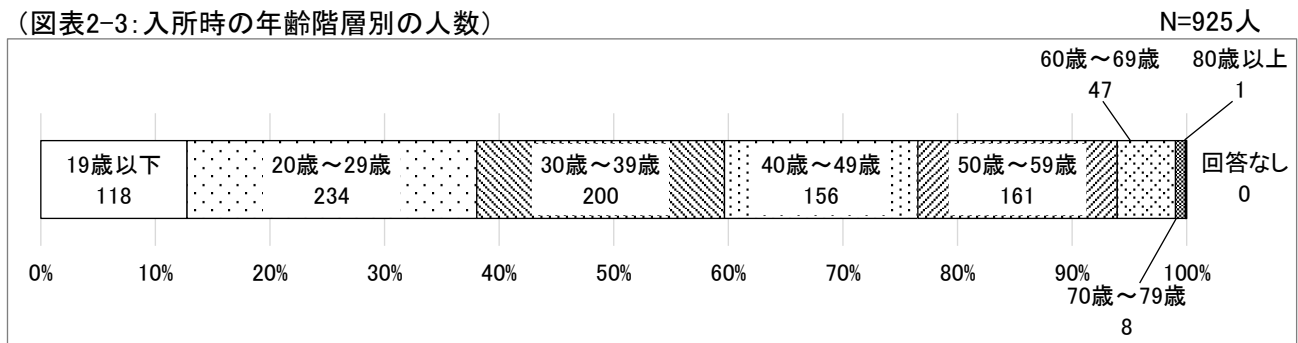
(図表2-1: 入所時の年齢階層別の人数と割合)

区分	人数	割合
19歳以下	118	12.8%
20歳～29歳	234	25.3%
30歳～39歳	200	21.6%
40歳～49歳	156	16.9%
50歳～59歳	161	17.4%
60歳～69歳	47	5.1%
70歳～79歳	8	0.9%
80歳以上	1	0.1%
回答なし	0	0.0%
合計	925	100.0%

(図表2-2: 入所時の平均年齢)

区分	年齢	前回調査の年齢
平均年齢	36.7	38.2

(図表2-3: 入所時の年齢階層別の人数)



問3 現在の年齢

この方の令和5年3月1日現在の年齢は？

現在の年齢は、「50歳～59歳」(303人、32.8%)が最も多く、次いで「60歳～69歳」(202人、21.8%)、「40歳～49歳」(180人、19.5%)となっています。全体の3分の1以上が60歳以上(354人、38.2%)となっています。
現在の平均年齢は55.8歳で、令和2年3月に実施した前回調査時の54.6歳より1.2歳上回っています。

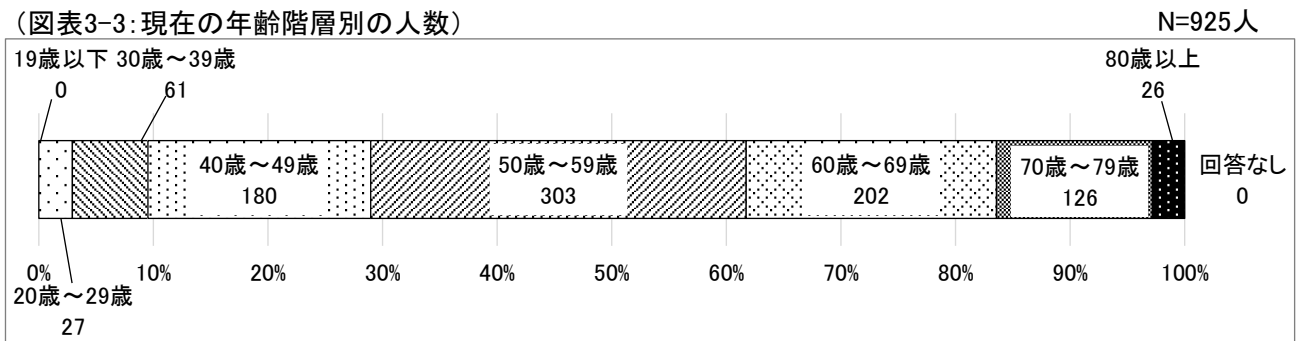
(図表3-1:現在の年齢階層別の人数と割合)

区分	人数	割合
19歳以下	0	0.0%
20歳～29歳	27	2.9%
30歳～39歳	61	6.6%
40歳～49歳	180	19.5%
50歳～59歳	303	32.8%
60歳～69歳	202	21.8%
70歳～79歳	126	13.6%
80歳以上	26	2.8%
回答なし	0	0.0%
合計	925	100.0%

(図表3-2:現在の平均年齢)

区分	年齢	前回調査の年齢
平均年齢	55.8	54.6

(図表3-3:現在の年齢階層別の人数)



問4 支給決定市町村名

この方の支給決定市町村名は？

愛知県での集計分も合わせ、支給決定市町村を障害保健福祉圏域別に集計すると、「名古屋・尾張中部圏域」(1,006人、27.4%)が最も多く、次いで「東三河南部圏域」(537人、14.6%)、「尾張北部圏域」(443人、12.1%)となっています。

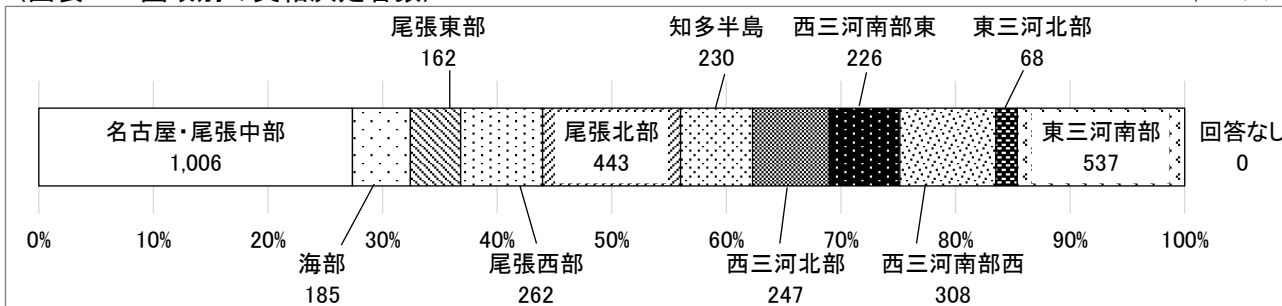
(図表4-1: 圏域別の支給決定者数と割合)

区分	人数	割合	前回調査の人数	増減	人口(※)	人口1万人当たり
名古屋・尾張中部	1,006	27.4%	1,072	△ 66	2,491,685	4.0
名古屋市	925	25.2%	985	△ 60	2,322,598	4.0
尾張中部	81	2.2%	87	△ 6	169,087	4.8
海部	185	5.0%	200	△ 15	321,632	5.8
尾張東部	162	4.4%	158	4	476,118	3.4
尾張西部	262	7.1%	265	△ 3	508,063	5.2
尾張北部	443	12.1%	455	△ 12	727,850	6.1
知多半島	230	6.3%	225	5	620,528	3.7
西三河北部	247	6.7%	239	8	478,161	5.2
西三河南部東	226	6.2%	226	0	424,712	5.3
西三河南部西	308	8.4%	314	△ 6	697,321	4.4
東三河北部	68	1.9%	69	△ 1	50,283	13.5
東三河南部	537	14.6%	557	△ 20	686,998	7.8
回答なし	0	0.0%	0	0	0	-
合計	3,674	100.0%	3,780	△ 106	7,483,351	4.9

※ 「市町村別年齢別人口推計(令和5年3月1日現在)」(愛知県)

(図表4-2: 圏域別の支給決定者数)

N=3,674人



問5 入所期間(入所年月日)

この方の入所年月日は？

入所年月日から入所期間を算出すると、「20年以上」(353人、38.2%)が最も多く、次いで「10年以上20年未満」(248人、26.8%)、「5年以上10年未満」(121人、13.1%)となっており、10年以上入所している方(601人、65.0%)が全体の6割以上を占めています。

平均入所期間は16.2年で、令和2年3月に実施した前回調査時の16.7年より0.5年短くなっています。

(図表5-1: 入所期間別の人数と割合)

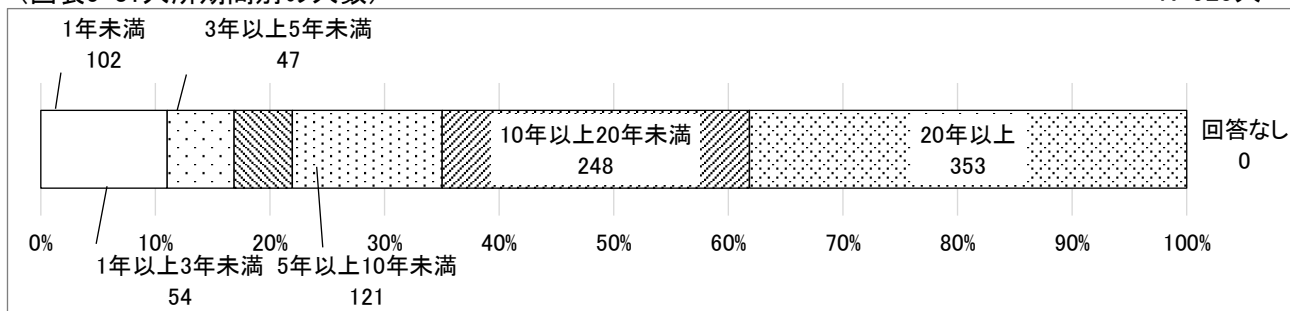
区分	人数	割合
1年未満	102	11.0%
1年以上3年未満	54	5.8%
3年以上5年未満	47	5.1%
5年以上10年未満	121	13.1%
10年以上20年未満	248	26.8%
20年以上	353	38.2%
回答なし	0	0.0%
合計	925	100.0%

(図表5-2: 平均入所期間)

区分	期間	前回調査の期間
平均入所期間	16.2	16.7

(図表5-3: 入所期間別の人数)

N=925人



問6 主な障害種別

この方の主な障害種別は？（最大2つ選択）

主な障害種別は、「知的障害」のみを選択した方(518人、56.0%)が最も多く全体の半数以上を占め、次いで「身体障害(肢体不自由)」と「知的障害」を選択した方(165人、17.8%)、「身体障害(肢体不自由)」のみを選択した方(125人、13.5%)となっています。

また、障害種別ごとの選択割合は、「知的障害」(746人、80.6%)が最も多く全体の8割を占め、次いで「身体障害(肢体不自由)」(318人、34.4%)となっています。

(図表6: 主な障害種別ごとの人数と割合)

区分		身体障害					知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	内部障害						
身体障害	肢体不自由	人数	125	5	2		11	165	7		3	318
		割合	13.5%	0.5%	0.2%		1.2%	17.8%	0.8%		0.3%	34.4%
	視覚障害	人数	5	2				17	1			25
		割合	0.5%	0.2%				1.8%	0.1%			2.7%
	聴覚・平衡機能障害	人数	2		1			12				15
		割合	0.2%		0.1%			1.3%				1.6%
音声・言語・そしゃく機能障害	人数				1		2				3	
	割合				0.1%		0.2%				0.3%	
内部障害	人数	11				11	7	6			35	
	割合	1.2%				1.2%	0.8%	0.6%			3.8%	
知的障害	人数	165	17	12	2	7	518	3	19	3	746	
	割合	17.8%	1.8%	1.3%	0.2%	0.8%	56.0%	0.3%	2.1%	0.3%	80.6%	
精神障害	人数	7	1			6	3	4			21	
	割合	0.8%	0.1%			0.6%	0.3%	0.4%			2.3%	
発達障害	人数						19				19	
	割合						2.1%				2.1%	
難病	人数	3					3				6	
	割合	0.3%					0.3%				0.6%	
回答なし	人数										0	
	割合										0.0%	
合計	人数	318	25	15	3	35	746	21	19	6	925	
	割合	34.4%	2.7%	1.6%	0.3%	3.8%	80.6%	2.3%	2.1%	0.6%	100.0%	

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、 部分は、再掲となっています。

問7 障害支援区分

この方の障害支援区分は？

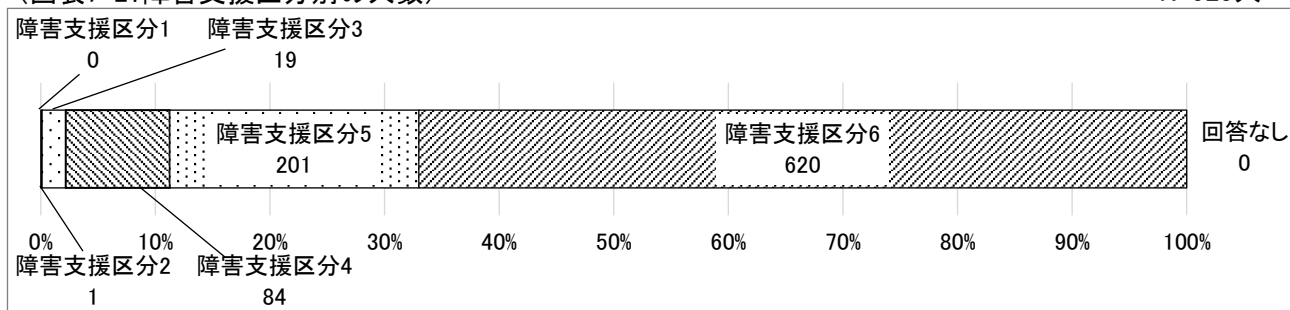
障害支援区分は、「障害支援区分6」(620人、67.0%)が最も多く全体の6割以上を占め、次いで「障害支援区分5」(201人、21.7%)となっており、障害支援区分5以上(821人、88.8%)が全体の9割近くとなっています。

(図表7-1:障害支援区分別の人数と割合)

区分	人数	割合
障害支援区分1	0	0.0%
障害支援区分2	1	0.1%
障害支援区分3	19	2.1%
障害支援区分4	84	9.1%
障害支援区分5	201	21.7%
障害支援区分6	620	67.0%
回答なし	0	0.0%
合計	925	100.0%

(図表7-2:障害支援区分別の人数)

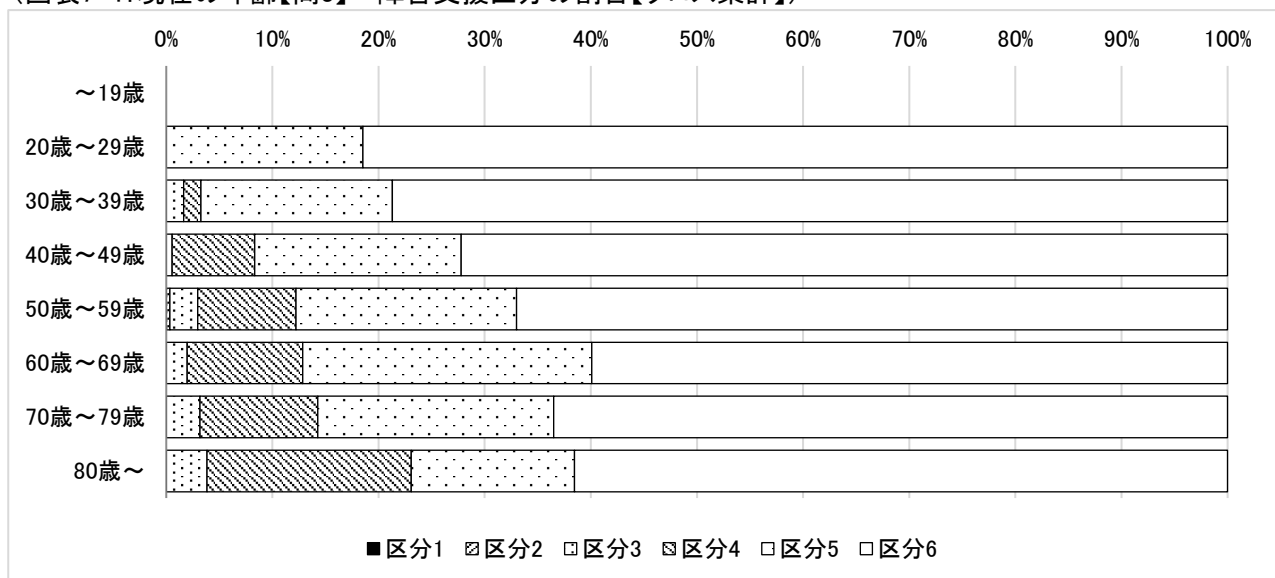
N=925人



(図表7-3:現在の年齢【問3】×障害支援区分の人数と割合【クロス集計】)

区分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
～19歳	人数							0
	割合							0.0%
20歳～29歳	人数					5	22	27
	割合					0.5%	2.4%	2.9%
30歳～39歳	人数			1	1	11	48	61
	割合			0.1%	0.1%	1.2%	5.2%	6.6%
40歳～49歳	人数			1	14	35	130	180
	割合			0.1%	1.5%	3.8%	14.1%	19.5%
50歳～59歳	人数		1	8	28	63	203	303
	割合		0.1%	0.9%	3.0%	6.8%	21.9%	32.8%
60歳～69歳	人数			4	22	55	121	202
	割合			0.4%	2.4%	5.9%	13.1%	21.8%
70歳～79歳	人数			4	14	28	80	126
	割合			0.4%	1.5%	3.0%	8.6%	13.6%
80歳～	人数			1	5	4	16	26
	割合			0.1%	0.5%	0.4%	1.7%	2.8%
合計	人数	0	1	19	84	201	620	925
	割合	0.0%	0.1%	2.1%	9.1%	21.7%	67.0%	100.0%

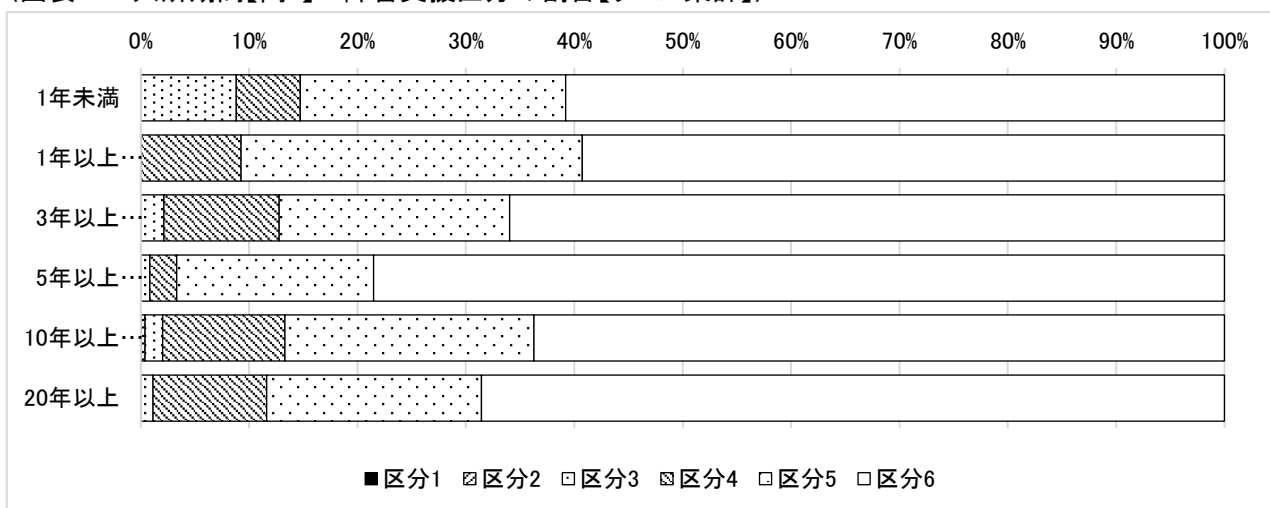
(図表7-4:現在の年齢【問3】×障害支援区分の割合【クロス集計】)



(図表7-5:入所期間【問5】×障害支援区分の人数と割合【クロス集計】)

区分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
1年未満	人数			9	6	25	62	102
	割合			1.0%	0.6%	2.7%	6.7%	11.0%
1年以上 3年未満	人数				5	17	32	54
	割合				0.5%	1.8%	3.5%	5.8%
3年以上 5年未満	人数			1	5	10	31	47
	割合			0.1%	0.5%	1.1%	3.4%	5.1%
5年以上 10年未満	人数			1	3	22	95	121
	割合			0.1%	0.3%	2.4%	10.3%	13.1%
10年以上 20年未満	人数		1	4	28	57	158	248
	割合		0.1%	0.4%	3.0%	6.2%	17.1%	26.8%
20年以上	人数			4	37	70	242	353
	割合			0.4%	4.0%	7.6%	26.2%	38.2%
回答なし	人数							0
	割合							0.0%
合計	人数	0	1	19	84	201	620	925
	割合	0.0%	0.1%	2.1%	9.1%	21.7%	67.0%	100.0%

(図表7-6:入所期間【問5】×障害支援区分の割合【クロス集計】)



(図表7-7: 主な障害種別【問6】×「障害支援区分6」の人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害					知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	内部障害						
身体障害	肢体不自由	人数	97	4	1		6	144	6		2	260
		割合	77.6%	80.0%	50.0%		54.5%	87.3%	85.7%		66.7%	81.8%
	視覚障害	人数	4	2				14	1			21
		割合	80.0%	100.0%				82.4%	100.0%			84.0%
	聴覚・平衡機能障害	人数	1					7				8
		割合	50.0%					58.3%				53.3%
音声・言語・そしゃく機能障害	人数						1				1	
	割合						50.0%				33.3%	
内部障害	人数	6				5	6	3			20	
	割合	54.5%				45.5%	85.7%	50.0%			57.1%	
知的障害	人数	144	14	7	1	6	299	1	16	2	490	
	割合	87.3%	82.4%	58.3%	50.0%	85.7%	57.7%	33.3%	84.2%	66.7%	65.7%	
精神障害	人数	6	1			3	1	3			14	
	割合	85.7%	100.0%			50.0%	33.3%	75.0%			66.7%	
発達障害	人数						16				16	
	割合						84.2%				84.2%	
難病	人数	2					2				4	
	割合	66.7%					66.7%				66.7%	
回答なし	人数										0	
	割合										-	
合計	人数	260	21	8	1	20	490	14	16	4	620	
	割合	81.8%	84.0%	53.3%	33.3%	57.1%	65.7%	66.7%	84.2%	66.7%	67.0%	

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、 部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表7-8: 主な障害種別【問6】× 障害支援区分の人数と割合【クロス集計】)

○ 障害種別を1つだけ選択した方

N=925人

区分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	
身体障害	肢体不自由	人数			5	8	15	97	125
		割合			4.0%	6.4%	12.0%	77.6%	100.0%
	視覚障害	人数						2	2
		割合						100.0%	100.0%
	聴覚・平衡機能障害	人数					1		1
		割合					100.0%		0.0%
音声・言語・そしゃく機能障害	人数					1		1	
	割合					100.0%		100.0%	
内部障害	人数			2	3	1	5	11	
	割合			18.2%	27.3%	9.1%	45.5%	100.0%	
知的障害	人数		1	9	62	147	299	518	
	割合		0.2%	1.7%	12.0%	28.4%	57.7%	100.0%	
精神障害	人数					1	3	4	
	割合					25.0%	75.0%	100.0%	
発達障害	人数							0	
	割合							0.0%	
難病	人数							0	
	割合							0.0%	
合計	人数	0	1	16	73	166	406	662	
	割合	0.0%	0.2%	2.4%	11.0%	25.1%	61.3%	100.0%	

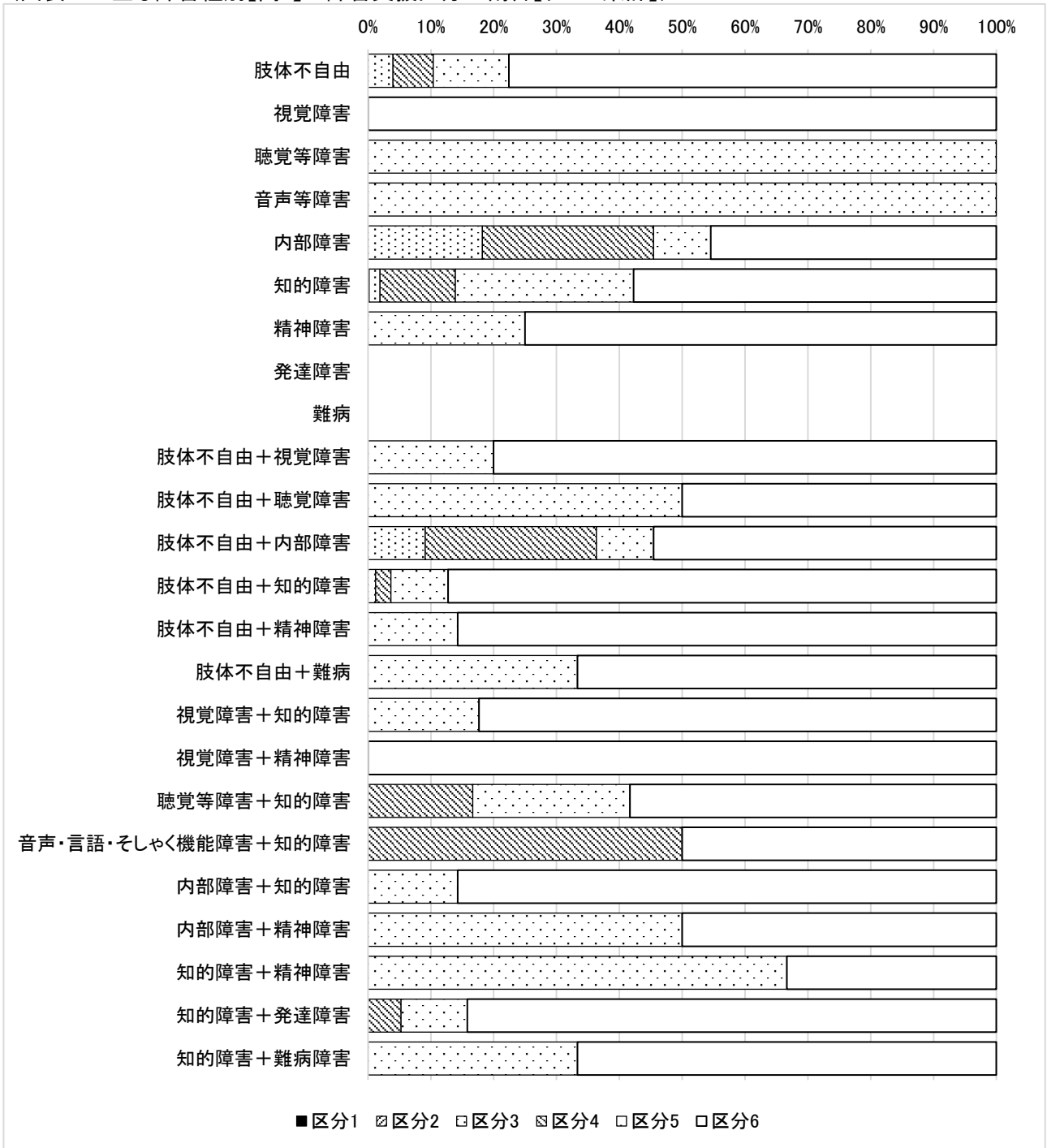
○ 障害種別を2つ選択した方(重複障害)

N=925人

区分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
肢体不自由 +視覚障害	人数					1	4	5
	割合					20.0%	80.0%	100.0%
肢体不自由 +聴覚障害	人数					1	1	2
	割合					50.0%	50.0%	100.0%
肢体不自由 +内部障害	人数			1	3	1	6	11
	割合			9.1%	27.3%	9.1%	54.5%	100.0%
肢体不自由 +知的障害	人数			2	4	15	144	165
	割合			1.2%	2.4%	9.1%	87.3%	100.0%
肢体不自由 +精神障害	人数					1	6	7
	割合					14.3%	85.7%	100.0%
肢体不自由 +難病	人数					1	2	3
	割合					33.3%	66.7%	100.0%
視覚障害 +知的障害	人数					3	14	17
	割合					17.6%	82.4%	100.0%
視覚障害 +精神障害	人数						1	1
	割合						100.0%	0.0%
聴覚・平衡機能障害 +知的障害	人数				2	3	7	12
	割合				16.7%	25.0%	58.3%	100.0%
音声・言語・そしゃく機能障害 +知的障害	人数				1		1	2
	割合				50.0%		50.0%	100.0%
内部障害 +知的障害	人数					1	6	7
	割合					14.3%	85.7%	100.0%
内部障害 +精神障害	人数					3	3	6
	割合					50.0%	50.0%	0.0%
知的障害 +精神障害	人数					2	1	3
	割合					66.7%	33.3%	100.0%
知的障害 +発達障害	人数				1	2	16	19
	割合				5.3%	10.5%	84.2%	100.0%
知的障害 +難病障害	人数					1	2	3
	割合					33.3%	66.7%	100.0%
合計	人数	0	0	3	11	35	214	263
	割合	0.0%	0.0%	1.1%	4.2%	13.3%	81.4%	100.0%

※ 割合は、各区分の人数(計)に占める割合です。

(図表7-8: 主な障害種別【問6】×障害支援区分の割合【クロス集計】)



問8 成年後見制度の利用状況

この方は、成年後見制度を利用していますか。(1つだけ選択)

成年後見制度は、利用していない方(651人、70.4%)が全体の7割を超え、利用している方(263人、28.4%)を大きく上回っています。

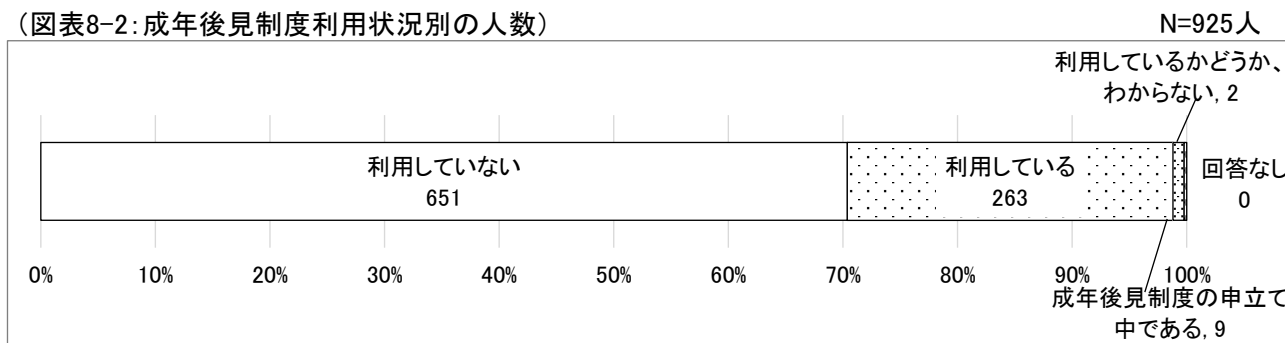
利用している方の主な障害種別(複数選択)をみると、「知的障害」を選択した方が最も多くなっています。

利用している方の障害支援区分をみると、「障害支援区分6」(178人、成年後見制度利用者全体の67.7%)が最も多く、利用している方全体の約7割を占め、次いで「障害支援区分5」(64人、成年後見制度利用者全体の24.3%)となっています。

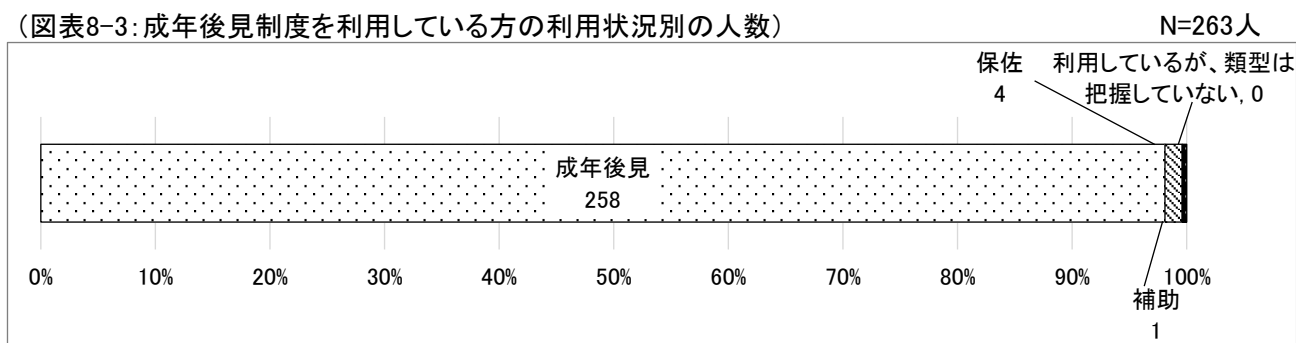
(図表8-1:成年後見制度利用状況別の人数と割合)

区分	人数	割合
利用していない	651	70.4%
利用している	263	28.4%
成年後見	258	27.9%
保佐	4	0.4%
補助	1	0.1%
利用しているが、類型は把握していない	0	0.0%
成年後見制度の申立て中である	9	1.0%
利用しているかどうか、わからない	2	0.2%
回答なし	0	0.0%
合計	925	100.0%

(図表8-2:成年後見制度利用状況別の人数)



(図表8-3:成年後見制度を利用している方の利用状況別の人数)



(図表8-4: 主な障害種別【問6】×「利用している(成年後見)」の人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害					知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	内部障害						
身体障害	肢体不自由	人数	6		1		37	1				45
		割合	4.8%		50.0%		22.4%	14.3%				14.2%
	視覚障害	人数		1			8					9
		割合		50.0%			47.1%					36.0%
	聴覚・平衡機能障害	人数	1				5					6
		割合	50.0%				41.7%					40.0%
音声・言語・そしゃく機能障害	人数					1					1	
	割合					50.0%					33.3%	
内部障害	人数					1	2	4			7	
	割合					9.1%	28.6%	66.7%			20.0%	
知的障害	人数	37	8	5	1	2	181	1	6		241	
	割合	22.4%	47.1%	41.7%	50.0%	28.6%	34.9%	33.3%	31.6%		32.3%	
精神障害	人数	1				4	1	3			9	
	割合	14.3%				66.7%	33.3%	75.0%			42.9%	
発達障害	人数						6				6	
	割合						31.6%				31.6%	
難病	人数										0	
	割合										0.0%	
回答なし	人数										0	
	割合										-	
合計	人数	45	9	6	1	7	241	9	6	0	258	
	割合	14.2%	36.0%	40.0%	33.3%	20.0%	32.3%	42.9%	0.0%	0.0%	27.9%	

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、 部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表8-5: 障害支援区分【問7】×成年後見制度を利用している方の人数と割合【クロス集計】)

区分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
成年後見	人数			1	16	63	178	258
	割合			0.4%	6.1%	24.0%	67.7%	98.1%
保佐	人数		1	1	1	1		4
	割合		0.4%	0.4%	0.4%	0.4%		1.5%
補助	人数			1				1
	割合			0.4%				0.4%
利用しているが、 類型は把握していない	人数							0
	割合							0.0%
合計	人数	0	1	3	17	64	178	263
	割合	0.0%	0.4%	1.1%	6.5%	24.3%	67.7%	100.0%

問9 令和2年3月1日を調査基準日に実施したニーズ調査(前回調査)との関係

この方は、令和2年3月1日を調査基準日として実施した前回ニーズ調査で、地域生活への移行を希望された方ですか？ (1つだけ選択)

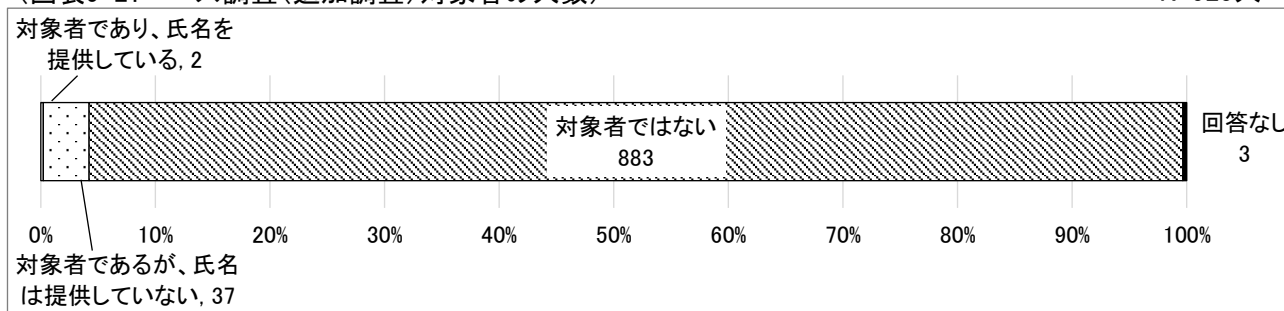
令和2年3月に実施した前回調査において、地域生活への移行を希望する旨の回答をされた方は40人でした。このうち、令和5年3月1日を調査基準日とした今回の調査において、回答された方は39人でありました。
 前回の調査において、ご本人の承諾が得られ、氏名等の個人情報を提供いただいた場合、県から支給決定市町村に個人情報を提供し、各市町村において個別に地域生活移行への取組を進めていただくこととしました。
 前回調査では2名の方に個人情報を提供していただきましたが、その方は今回の調査の時点で施設に入所していました。

(図表9-1: 前回調査における地域生活移行希望者の人数と割合)

区分	人数	割合
対象者であり、氏名を提供している	2	0.2%
対象者であるが、氏名は提供していない	37	4.0%
対象者ではない	883	95.5%
回答なし	3	0.3%
合計	925	100.0%

(図表9-2: ニーズ調査(追加調査)対象者の人数)

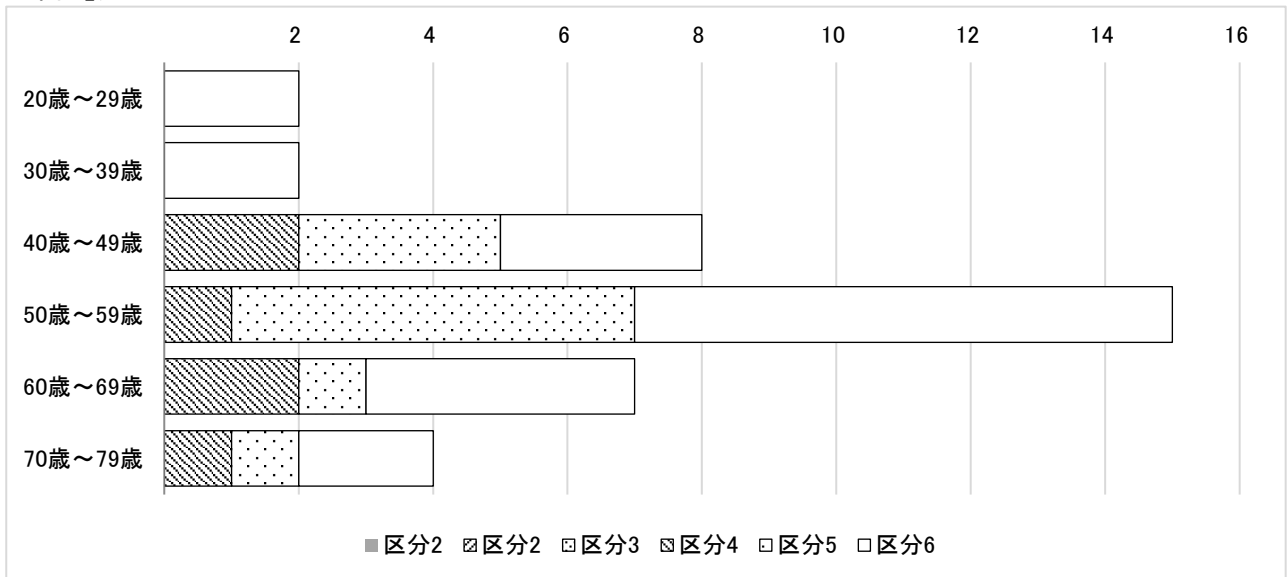
N=925人



(図表9-3:現在の年齢【問3】×障害支援区分【問7】×「前回調査における地域生活移行希望者」の人数と割合【クロス集計】)

区分		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
～19歳	人数							
	割合							
20歳～29歳	人数						2	2
	割合						5.1%	0.0%
30歳～39歳	人数						2	2
	割合						5.1%	5.1%
40歳～49歳	人数				2	3	3	8
	割合				5.1%	7.7%	7.7%	20.5%
50歳～59歳	人数				1	6	8	15
	割合				2.6%	15.4%	20.5%	38.5%
60歳～69歳	人数				2	1	4	7
	割合				5.1%	2.6%	10.3%	17.9%
70歳～79歳	人数				1	1	2	4
	割合				2.6%	2.6%	5.1%	10.3%
80歳～	人数						1	1
	割合						2.6%	2.6%
合計	人数				6	11	22	39
	割合				15.4%	28.2%	56.4%	100.0%

(図表9-4:現在の年齢【問3】×障害支援区分の割合×「前回調査における地域生活移行希望者」の人数【クロス集計】)



(図表9-5: 主な障害種別【問6】×「前回調査における地域生活移行希望者」の人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害					知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	内部障害						
身体障害	肢体不自由	人数	5	1			9					15
		割合	4.0%	20.0%			5.5%					4.7%
	視覚障害	人数	1				1					2
		割合	20.0%				5.9%					8.0%
	聴覚・平衡機能障害	人数										0
割合											0	
音声・言語・そしゃく機能障害	人数										0	
	割合										0	
内部障害	人数										0	
	割合										0	
知的障害	人数	9	1			23					33	
	割合	5.5%	5.9%			4.4%					0.0%	
精神障害	人数										0	
	割合										0	
発達障害	人数										0	
	割合										0	
難病	人数										0	
	割合										0	
回答なし	人数										0	
	割合										-	
合計	人数	15	2	0	0	0	33	0	0	0	39	
	割合	4.7%	8.0%				4.4%				-	4.2%

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、 部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

2. 地域生活移行に関する状況 …職員回答

問10 記入者の職種

この調査票を記入していただいている方の職種等は？（1つだけ選択）

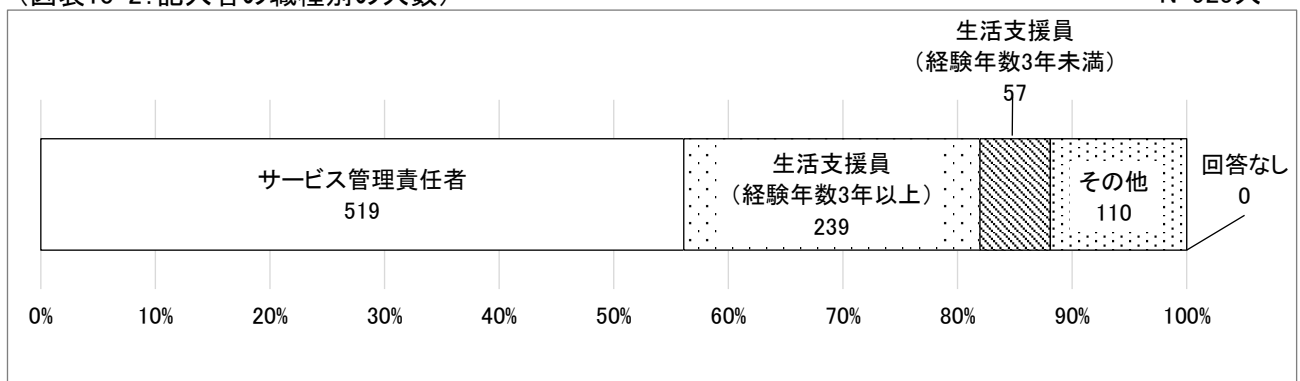
この調査票の記入者（ご本人聴き取り項目を除く。）の職種等は、「サービス管理責任者」（519人、56.1%）が最も多く全体の5割以上を占め、次いで「生活支援員（経験年数3年以上）」（239人、25.8%）となっています。

（図表10-1：記入者の職種別の人数と割合）

区分	人数	割合
サービス管理責任者	519	56.1%
生活支援員【経験年数3年以上】	239	25.8%
生活支援員【経験年数3年未満】	57	6.2%
その他	110	11.9%
回答なし	0	0.0%
合計	925	100.0%

（図表10-2：記入者の職種別の人数）

N=925人



問11 ご本人に対する地域生活移行に向けた取組

この方に対して、施設が行っている地域生活への移行に向けた取組は？（最大3つ選択）

施設でご本人に対して行っている地域生活移行に向けた取組は、取組をしている方(473人、51.1%)「特に何もしていない」(452人、48.9%)と、がほぼ同じ割合となっています。

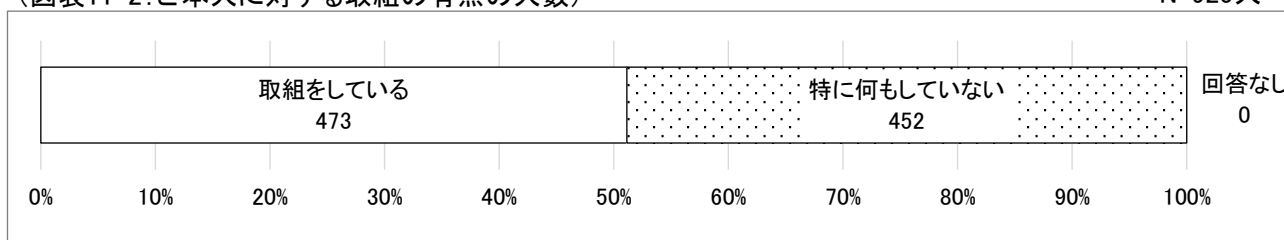
取組の内容は、「地域生活に関する情報提供(DVD、写真、パンフレットなど)」(250人、取組をしている方全体の52.9%)が最も多く、次いで「地域生活移行に関するご本人のニーズの定期的な確認」(116人、取組をしている方全体の24.5%)となっています。

(図表11-1:ご本人に対する取組の有無の人数と割合)

区分	人数	割合
取組をしている	473	51.1%
特に何もしていない	452	48.9%
回答なし	0	0.0%
合計	925	100.0%

(図表11-2:ご本人に対する取組の有無の人数)

N=925人



(図表11-3:ご本人に対する取組別の人数と割合【複数回答】)

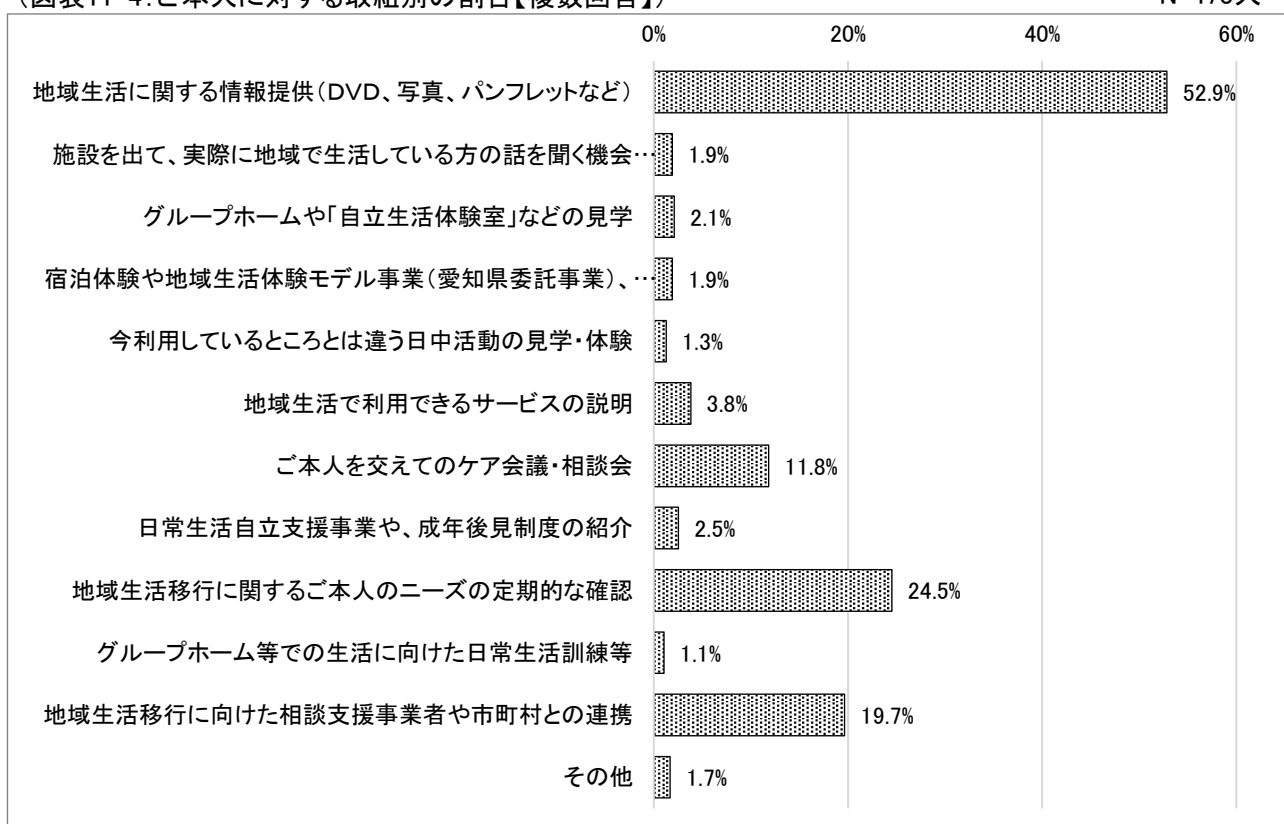
N=473人

区分	人数	割合
地域生活に関する情報提供(DVD、写真、パンフレットなど)	250	52.9%
施設を出て、実際に地域で生活している方の話を聞く機会の提供(ピアサポーター等を含む)	9	1.9%
グループホームや「自立生活体験室」などの見学	10	2.1%
宿泊体験や地域生活体験モデル事業(愛知県委託事業)、身体障害者自立生活体験事業(名古屋市委託事業)への参加	9	1.9%
今利用しているところとは違う日中活動の見学・体験	6	1.3%
地域生活で利用できるサービスの説明	18	3.8%
ご本人を交えてのケア会議・相談会	56	11.8%
日常生活自立支援事業や、成年後見制度の紹介	12	2.5%
地域生活移行に関するご本人のニーズの定期的な確認	116	24.5%
グループホーム等での生活に向けた日常生活訓練等	5	1.1%
地域生活移行に向けた相談支援事業者や市町村との連携	93	19.7%
その他	8	1.7%

※ 割合は、取組をしている方に対する割合です。

(図表11-4:ご本人に対する取組別の割合【複数回答】)

N=473人



※ 割合は、取組をしている方に対する割合です。

問12 ご家族に対する地域生活移行に向けた取組

この方のご家族に対して、施設が行っている地域生活への移行に向けた取組は？(最大3つ選択)

施設でご家族に対して行っている地域生活移行に向けた取組は、「特に何もしていない」(559人、60.4%)が全体の6割程度を占め、取組をしている方(366人、39.6%)を大きく上回っています。

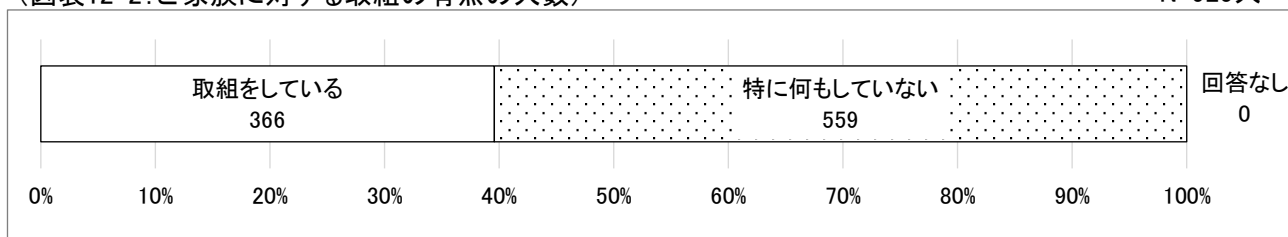
取組の内容は、「日常生活自立支援事業や、成年後見制度の紹介」(190人、取組をしている方全体の34.0%)が最も多く、次いで「地域生活に関する情報提供(DVD、写真、パンフレットなど)」(130人、取組をしている方全体の23.3%)となっています。

(図表12-1:ご家族に対する取組の有無の人数と割合)

区分	人数	割合
取組をしている	366	39.6%
特に何もしていない	559	60.4%
回答なし	0	0.0%
合計	925	100.0%

(図表12-2:ご家族に対する取組の有無の人数)

N=925人



(図表12-3:ご家族に対する取組別の人数と割合【複数回答】)

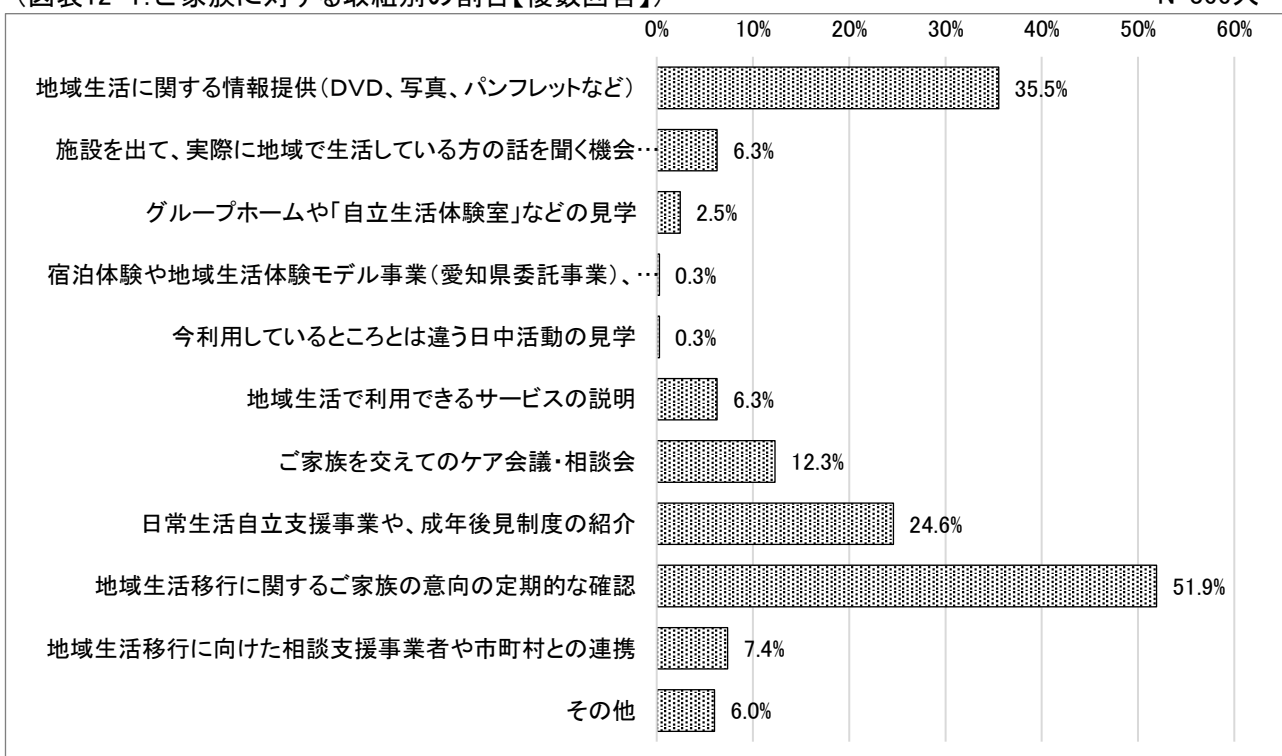
N=366人

区分	人数	割合
地域生活に関する情報提供(DVD、写真、パンフレットなど)	130	35.5%
施設を出て、実際に地域で生活している方の話を聞く機会の提供(ピアサポーター等を含む)	23	6.3%
グループホームや「自立生活体験室」などの見学	9	2.5%
宿泊体験や地域生活体験モデル事業(愛知县委託事業)、身体障害者自立生活体験事業(名古屋市委託事業)への参加	1	0.3%
今利用しているところとは違う日中活動の見学	1	0.3%
地域生活で利用できるサービスの説明	23	6.3%
ご家族を交えてのケア会議・相談会	45	12.3%
日常生活自立支援事業や、成年後見制度の紹介	90	24.6%
地域生活移行に関するご家族の意向の定期的な確認	190	51.9%
地域生活移行に向けた相談支援事業者や市町村との連携	27	7.4%
その他	22	6.0%

※ 割合は、取組をしている方に対する割合です。

(図表12-4:ご家族に対する取組別の割合【複数回答】)

N=366人



問13 地域生活移行の可能性

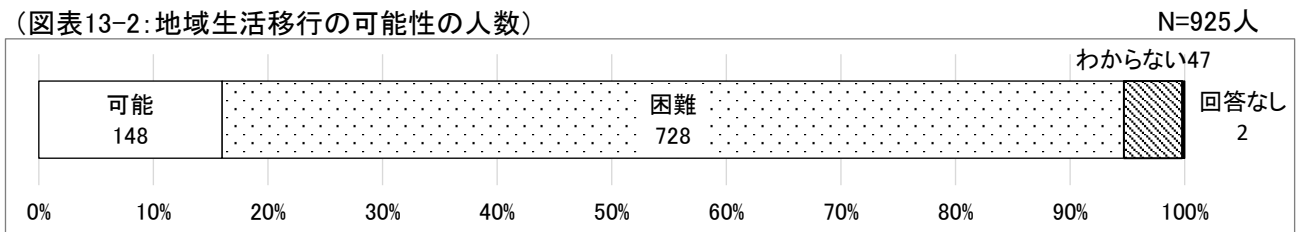
この方は、現在の地域における障害福祉サービスの利用により、地域生活へ移行することが可能と考えられますか？
 (1つだけ選択)

施設職員(記入者)から見た、この方の現在の地域における障害福祉サービスの利用による地域生活への移行の可能性は、「困難」(728人、78.7%)が全体の7割を超え、「可能」(148人、16.0%)を大きく上回っています。

(図表13-1:地域生活移行の可能性の人数と割合)

区分	人数	割合
可能	148	16.0%
困難	728	78.7%
わからない	47	5.1%
回答なし	2	0.2%
合計	925	100.0%

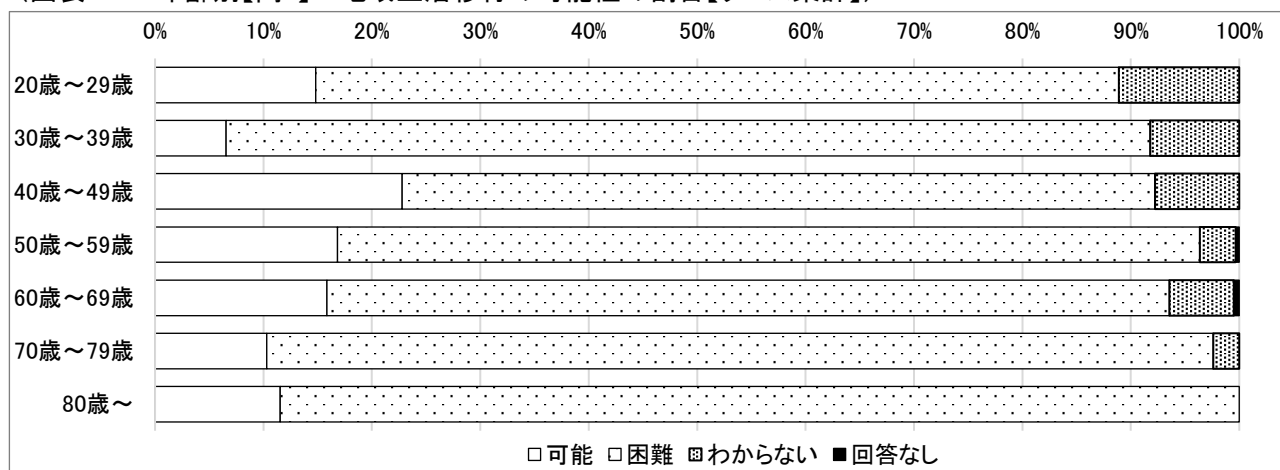
(図表13-2:地域生活移行の可能性の人数)



(図表13-3:年齢別【問3】×地域生活移行の可能性の人数と割合【クロス集計】)

区分		可能	困難	わからない	回答なし	計
～19歳	人数					0
	割合					
20歳～29歳	人数	4	20	3		27
	割合	0.4%	2.2%	0.3%		2.9%
30歳～39歳	人数	4	52	5		61
	割合	0.4%	5.6%	0.5%		6.6%
40歳～49歳	人数	41	125	14		180
	割合	4.4%	13.5%	1.5%		19.5%
50歳～59歳	人数	51	241	10	1	303
	割合	5.5%	26.1%	1.1%	0.1%	32.8%
60歳～69歳	人数	32	157	12	1	202
	割合	3.5%	17.0%	1.3%	0.1%	21.8%
70歳～79歳	人数	13	110	3		126
	割合	1.4%	11.9%	0.3%		13.6%
80歳～	人数	3	23			26
	割合	0.3%	2.5%			2.8%
合計	人数	148	728	47	2	925
	割合	16.0%	78.7%	5.1%	0.2%	100.0%

(図表13-4:年齢別【問3】×地域生活移行の可能性の割合【クロス集計】)



(図表13-5: 主な障害種別【問6】× 地域生活移行が「可能」の人数と割合【クロス集計】)

区分			身体障害					知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
			肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	内部障害						
身体障害	肢体不自由	人数	28				2	20	1				51
		割合	22.4%				18.2%	12.1%	14.3%				16.0%
	視覚障害	人数											0
		割合											
	聴覚・平衡機能障害	人数			1			1					2
		割合			100.0%			8.3%					13.3%
音声・言語・そしゃく機能障害	人数						1					1	
	割合						50.0%					0.0%	
内部障害	人数	2				1						3	
	割合	18.2%				9.1%						8.6%	
知的障害	人数	20		1	1		80	2	8	1		113	
	割合	12.1%		8.3%	50.0%		15.4%	66.7%	42.1%	33.3%		15.1%	
精神障害	人数	1					2	2				5	
	割合	14.3%					66.7%	50.0%				23.8%	
発達障害	人数						8					8	
	割合						42.1%					42.1%	
難病	人数						1					1	
	割合						33.3%					16.7%	
回答なし	人数											0	
	割合											-	
合計	人数	51	0	2	1	3	113	5	8	1	0	148	
	割合	16.0%		13.3%	0.0%	8.6%	15.1%	23.8%	42.1%	16.7%	-	16.0%	

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、 部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表13-6: 主な障害種別【問6】× 地域生活移行が「困難」の人数と割合【クロス集計】)

区分			身体障害					知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
			肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	内部障害						
身体障害	肢体不自由	人数	91	4	2		8	144	6		3		258
		割合	72.8%	80.0%	100.0%		72.7%	87.3%	85.7%		100.0%		81.1%
	視覚障害	人数	4	2				17	1				24
		割合	80.0%	100.0%				100.0%	100.0%				96.0%
	聴覚・平衡機能障害	人数	2					10					12
		割合	100.0%					83.3%					80.0%
音声・言語・そしゃく機能障害	人数				1		1					2	
	割合				100.0%		50.0%					66.7%	
内部障害	人数	8				9	7	6				30	
	割合	72.7%				81.8%	100.0%	100.0%				85.7%	
知的障害	人数	144	17	10	1	7	402		10	2		593	
	割合	87.3%	100.0%	83.3%	50.0%	100.0%	77.6%		52.6%	66.7%		79.5%	
精神障害	人数	6	1			6		2				15	
	割合	85.7%	100.0%			100.0%		50.0%				71.4%	
発達障害	人数						10					10	
	割合						52.6%					52.6%	
難病	人数	3					2					5	
	割合	100.0%					66.7%					83.3%	
回答なし	人数											0	
	割合											-	
合計	人数	258	24	12	2	30	593	15	10	5	0	728	
	割合	81.1%	96.0%	80.0%	66.7%	85.7%	79.5%	71.4%	52.6%	83.3%	-	78.7%	

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、 部分は、再掲となっています。

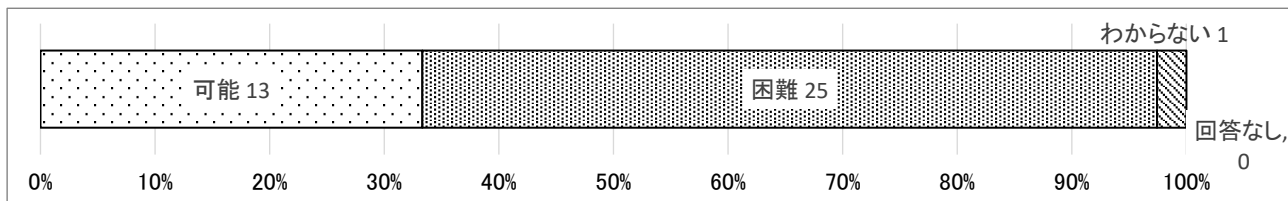
※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表13-7:「前回調査における地域生活移行希望者」【問9】×地域生活移行の可能性の人数と割合【クロス集

区分	人数	割合
可能	13	33.3%
困難	25	64.1%
わからない	1	2.6%
回答なし	0	0.0%
合計	39	100.0%

(図表13-8:地域生活移行の可能性の人数)

N=39人



問14 (問13関係)地域生活移行が困難な理由

地域生活への移行が「困難」なのは、どうしてですか？（いくつでも選択）

地域生活への移行が「困難」な理由は、「現在の地域における環境(障害福祉サービスや支援の提供体制)では、現実的には難しい」(405人、55.6%)が最も多く全体の5割以上を占め、次いで「ご家族の強い意向」(308人、42.3%)となっています。

(図表14-1:地域生活移行が困難な理由別の人数と割合【複数回答】)

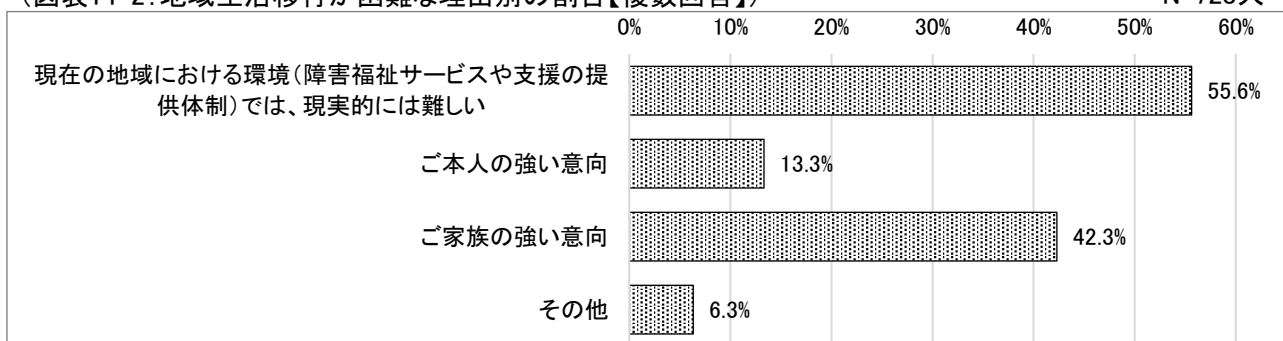
N=728人

区分	人数	割合
現在の地域における環境(障害福祉サービスや支援の提供体制)では、現実的には難しい	405	55.6%
ご本人の強い意向	97	13.3%
ご家族の強い意向	308	42.3%
その他	46	6.3%

※ 割合は、「困難」【問13】に対する割合です。

(図表14-2:地域生活移行が困難な理由別の割合【複数回答】)

N=728人



(図表14-3:「前回調査における地域生活移行希望者」【問9】×地域生活移行が困難な理由別の人数と割合【複数回答】)

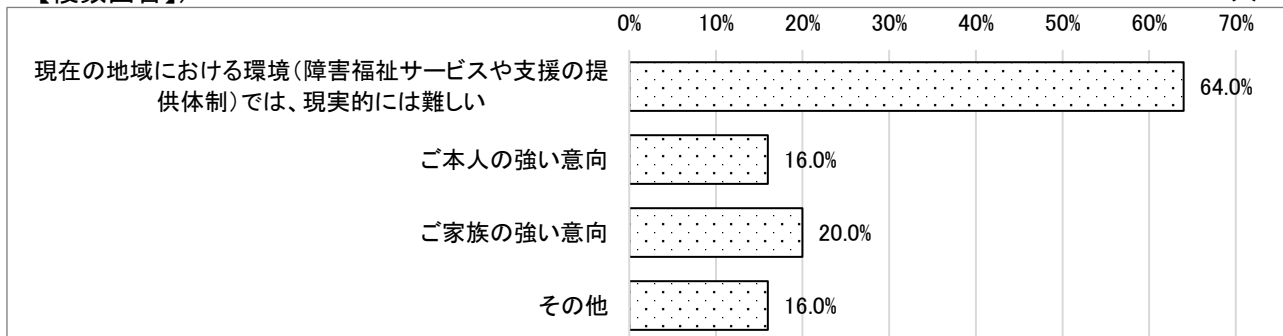
N=25人

区分	人数	割合
現在の地域における環境(障害福祉サービスや支援の提供体制)では、現実的には難しい	16	64.0%
ご本人の強い意向	4	16.0%
ご家族の強い意向	5	20.0%
その他	4	16.0%

※ 割合は、「前回調査における地域生活移行希望者」【問9】かつ「困難」【問13】に対する割合です。

(図表14-4:「前回調査における地域生活移行希望者」【問9】×地域生活移行が困難な理由別の割合【複数回答】)

N=25人



問15 (問14関係)地域生活移行に当たり不足しているサービスや支援

どのようなサービスや支援が充実すれば、可能となる見込みがあると思われますか？ (最大3つ選択)

現在の地域における環境では地域生活への移行は現実的に難しいけれども、どのようなサービスや支援が充実すれば可能となる見込みがあるかについて、「ご本人のことを理解し、継続的にかかわる人材(寄り添う人)の確保」(227人、56.0%)が最も多く全体の5割以上を占め、次いで「夜間支援を行うグループホームの増加」(176人、43.5%)、「行動障害に対応したグループホームの増加」(157人、38.8%)となっています。

(図表15-1:必要なサービスや支援別の人数と割合【複数回答】)

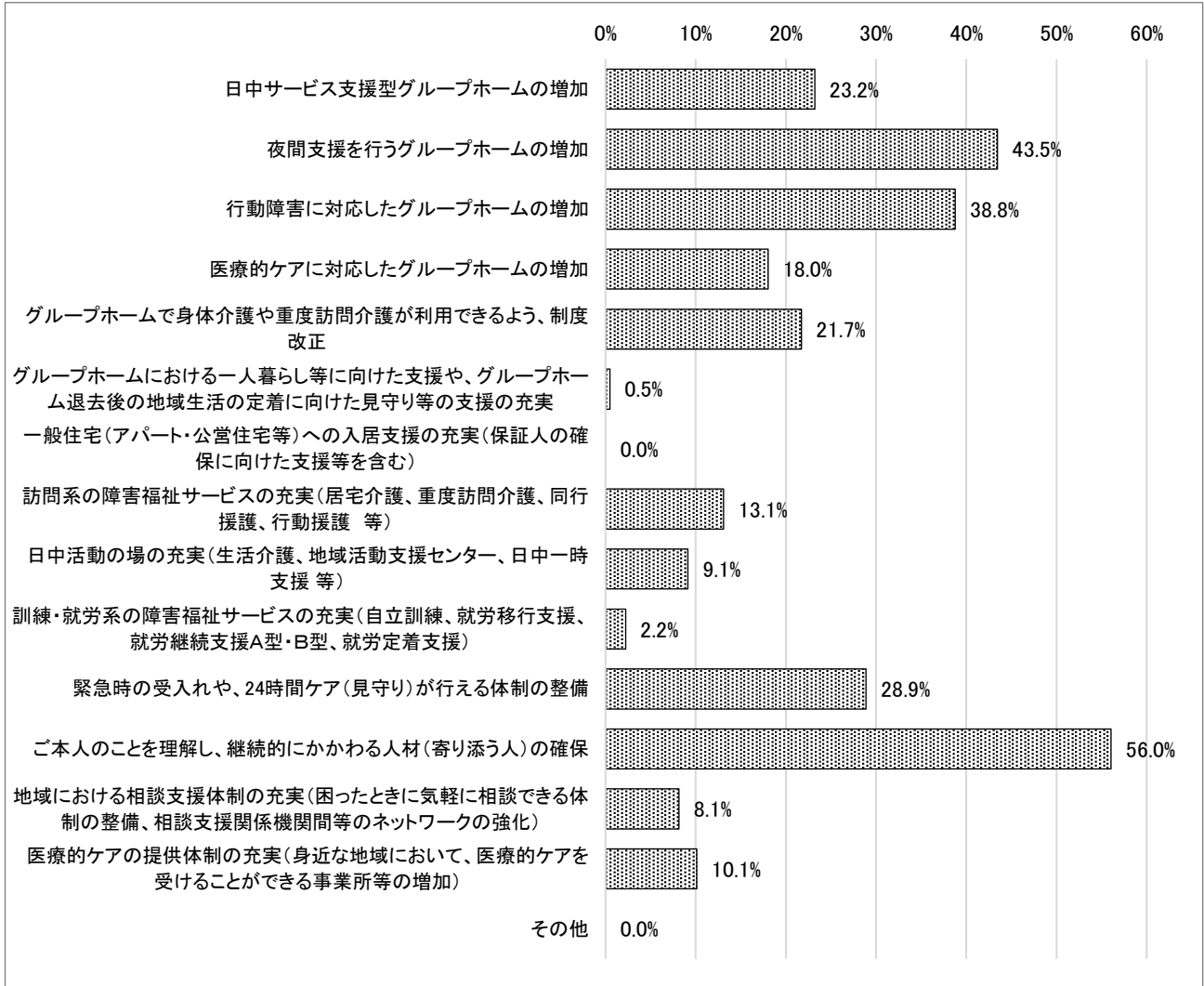
N=405人

区分	人数	割合
日中サービス支援型グループホームの増加	94	23.2%
夜間支援を行うグループホームの増加	176	43.5%
行動障害に対応したグループホームの増加	157	38.8%
医療的ケアに対応したグループホームの増加	73	18.0%
グループホームで身体介護や重度訪問介護が利用できるよう、制度改正	88	21.7%
グループホームにおける一人暮らし等に向けた支援や、グループホーム退去後の地域生活の定着に向けた見守り等の支援の充実	2	0.5%
一般住宅(アパート・公営住宅等)への入居支援の充実(保証人の確保に向けた支援等を含む)	0	0.0%
訪問系の障害福祉サービスの充実(居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護等)	53	13.1%
日中活動の場の充実(生活介護、地域活動支援センター、日中一時支援等)	37	9.1%
訓練・就労系の障害福祉サービスの充実(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型・B型、就労定着支援)	9	2.2%
緊急時の受入れや、24時間ケア(見守り)が行える体制の整備	117	28.9%
ご本人のことを理解し、継続的にかかわる人材(寄り添う人)の確保	227	56.0%
地域における相談支援体制の充実(困ったときに気軽に相談できる体制の整備、相談支援関係機関等のネットワークの強化)	33	8.1%
医療的ケアの提供体制の充実(身近な地域において、医療的ケアを受けることができる事業所等の増加)	41	10.1%
その他	0	0.0%

※ 割合は、「現在の地域における環境(障害福祉サービスや支援の提供体制)では、現実的には難しい」【問14】に対する割合です。

(図表15-2: 必要なサービスや支援別の人数と割合【複数回答】)

N=405人



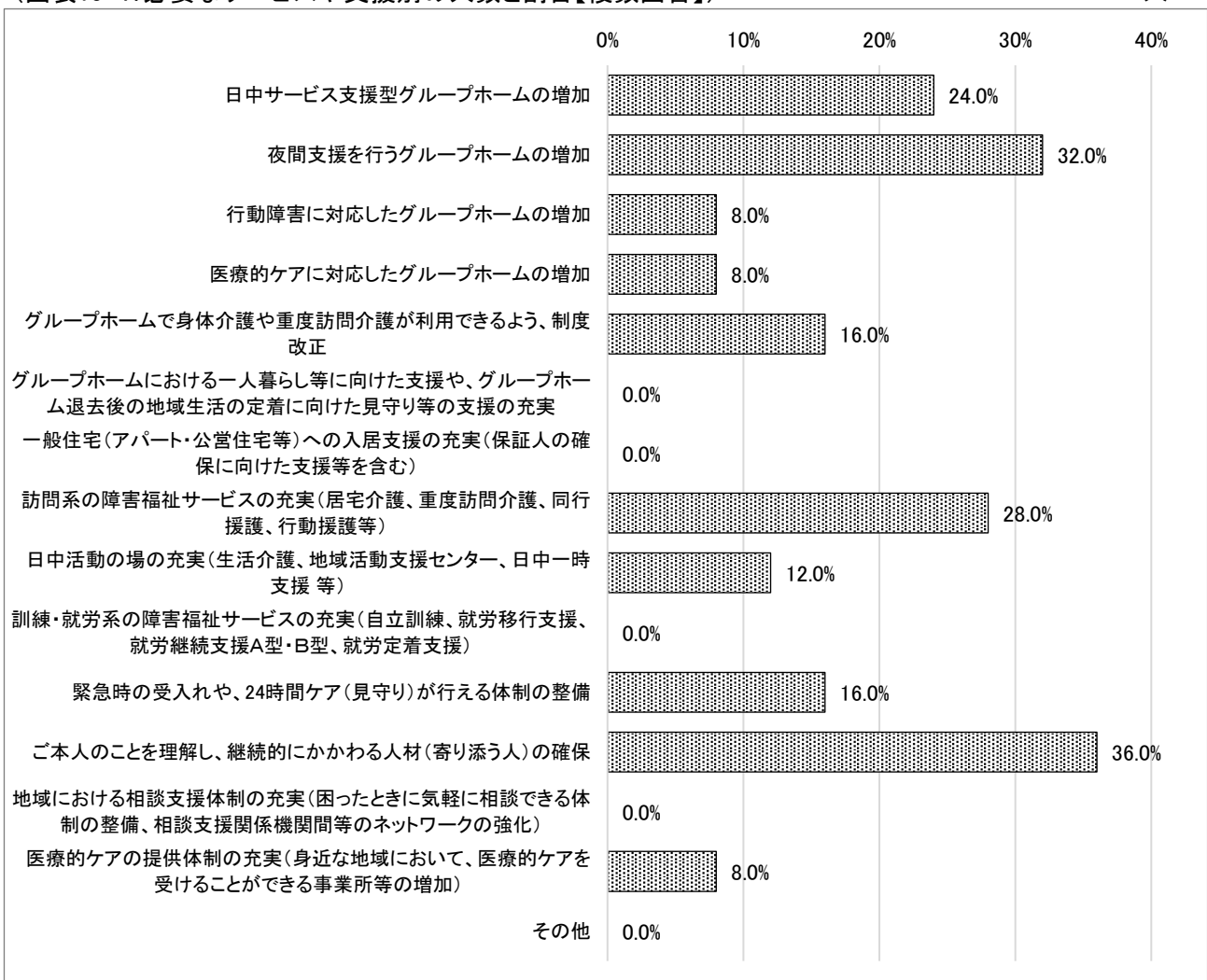
(図表15-3: 前回調査における地域生活移行希望者【問9】×必要なサービスや支援別の人数と割合【複数回答】
N=25人

区分	人数	割合
日中サービス支援型グループホームの増加	6	24.0%
夜間支援を行うグループホームの増加	8	32.0%
行動障害に対応したグループホームの増加	2	8.0%
医療的ケアに対応したグループホームの増加	2	8.0%
グループホームで身体介護や重度訪問介護が利用できるよう、制度改正	4	16.0%
グループホームにおける一人暮らし等に向けた支援や、グループホーム退去後の地域生活の定着に向けた見守り等の支援の充実	0	0.0%
一般住宅(アパート・公営住宅等)への入居支援の充実(保証人の確保に向けた支援等を含む)	0	0.0%
訪問系の障害福祉サービスの充実(居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護等)	7	28.0%
日中活動の場の充実(生活介護、地域活動支援センター、日中一時支援等)	3	12.0%
訓練・就労系の障害福祉サービスの充実(自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型・B型、就労定着支援)	0	0.0%
緊急時の受入れや、24時間ケア(見守り)が行える体制の整備	4	16.0%
ご本人のことを理解し、継続的にかかわる人材(寄り添う人)の確保	9	36.0%
地域における相談支援体制の充実(困ったときに気軽に相談できる体制の整備、相談支援関係機関等のネットワークの強化)	0	0.0%
医療的ケアの提供体制の充実(身近な地域において、医療的ケアを受けることができる事業所等の増加)	2	8.0%
その他	0	0.0%

※ 割合は、「前回調査における地域生活移行希望者【問9】かつ「困難」【問13】に対する割合です。

(図表15-4: 必要なサービスや支援別の人数と割合【複数回答】)

N=25人



問16 地域生活移行に当たり特に調整を要する事項(課題)

この方の地域生活への移行に向けて、特に調整を要する事項(課題)と考えられることは、次のうちどれですか？(最大3つ選択)

地域生活への移行に向けて、特に調整を要する事項(課題)は、「ご家族の理解と協力」(683人、73.8%)が最も多く全体の7割以上を占め、次いで「ご本人が地域生活への移行に向けた意思を持つこと」(486人、52.5%)となっています。

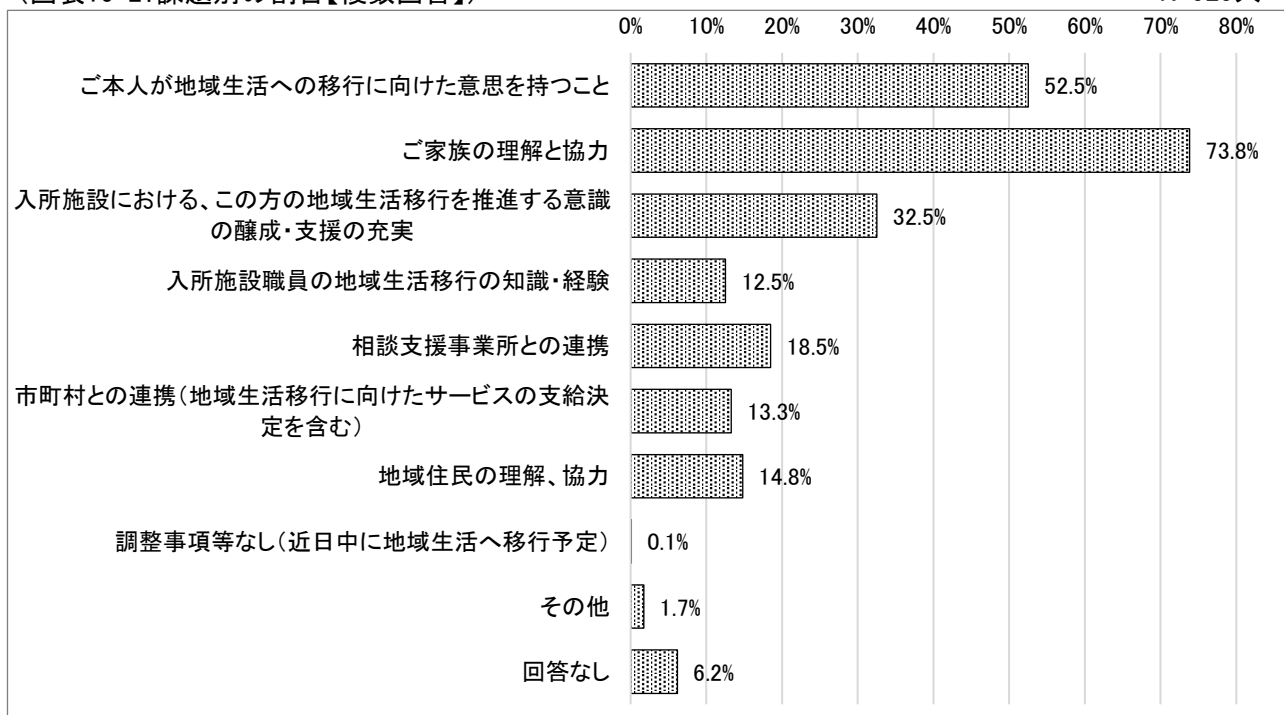
(図表16-1:課題別の人数と割合【複数回答】)

N=925人

区分	人数	割合
ご本人が地域生活への移行に向けた意思を持つこと	486	52.5%
ご家族の理解と協力	683	73.8%
入所施設における、この方の地域生活移行を推進する意識の醸成・支援の充実	301	32.5%
入所施設職員の地域生活移行の知識・経験	116	12.5%
相談支援事業所との連携	171	18.5%
市町村との連携(地域生活移行に向けたサービスの支給決定を含む)	123	13.3%
地域住民の理解、協力	137	14.8%
調整事項等なし(近日中に地域生活へ移行予定)	1	0.1%
その他	16	1.7%
回答なし	57	6.2%

(図表16-2:課題別の割合【複数回答】)

N=925人



3. ご家族等の意向 … 家族回答

問17 地域生活移行に関するご家族の意向

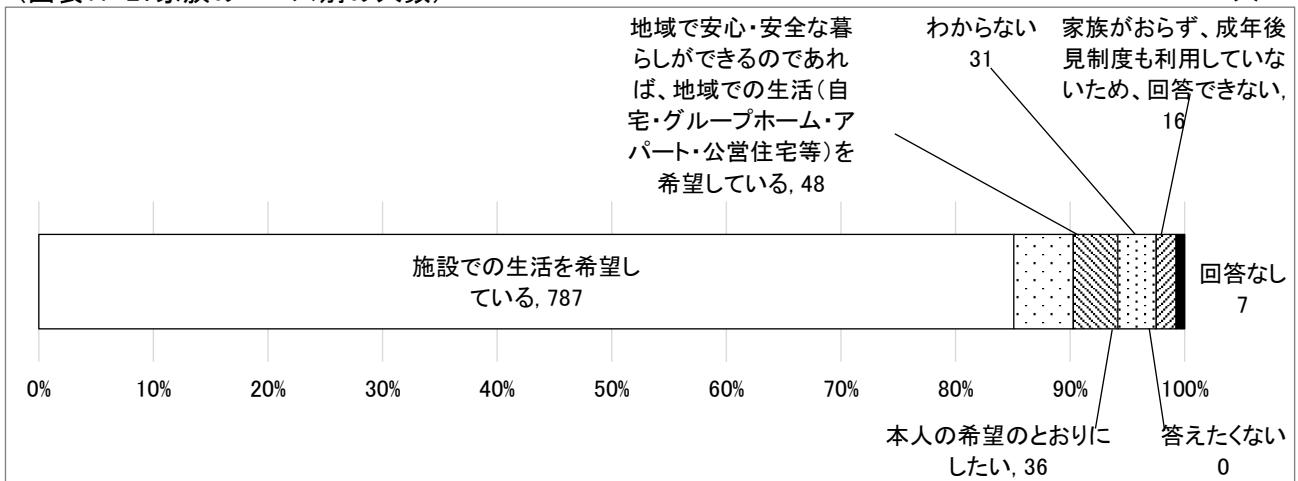
この方の地域生活への移行に関するご家族の意向は、次のうちどれですか？（1つだけ選択）

ご家族等の意向は、「施設での生活を希望している」(787人、85.1%)が最も多く全体の8割以上を占めており、「地域で安心・安全な暮らしができるのであれば、地域での生活(自宅・グループホーム・アパート・公営住宅等)を希望している」(48人、5.2%)と「本人の希望のとおりになりたい」(36人、3.9%)を合わせても、全体の1割以下(84人、9.1%)となっています。

(図表17-1: 家族のニーズ別の人数と割合)

区分	人数	割合
施設での生活を希望している	787	85.1%
地域で安心・安全な暮らしができるのであれば、地域での生活(自宅・グループホーム・アパート・公営住宅等)を希望している	48	5.2%
本人の希望のとおりになりたい	36	3.9%
わからない	31	3.4%
答えたくない	0	0.0%
家族がおらず、成年後見制度も利用していないため、回答できない	16	1.7%
回答なし	7	0.8%
合計	925	100.0%

(図表17-2: 家族のニーズ別の人数)



(図表17-3: 地域生活移行の可能性【問13】×家族のニーズ別の人数と割合【クロス集計】) N=925人

区分	可能		困難		わからない		回答なし	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
施設での生活を希望している	104	70.3%	668	91.8%	15	31.9%	0	0.0%
地域で安心・安全な暮らしができるのであれば、地域での生活(自宅・グループホーム・アパート・公営住宅等)を希望している	10	6.8%	13	1.8%	25	53.2%	0	0.0%
本人の希望のとおりになりたい	21	14.2%	9	1.2%	5	10.6%	1	50.0%
わからない	11	7.4%	17	2.3%	2	4.3%	1	50.0%
答えたくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
家族がおらず、成年後見制度も利用していないため、回答できない	2	1.4%	14	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
回答なし	0	0.0%	7	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	148	100.0%	728	100.0%	47	100.0%	2	100.0%

※ 割合は、地域生活移行の可能性【問13】の各区分の人数に占める割合です。

4. ご本人のニーズ等 … 本人回答

問18 聴き取り者の職種

ご本人に聴き取りを行った方の職種等は？（1つだけ選択）

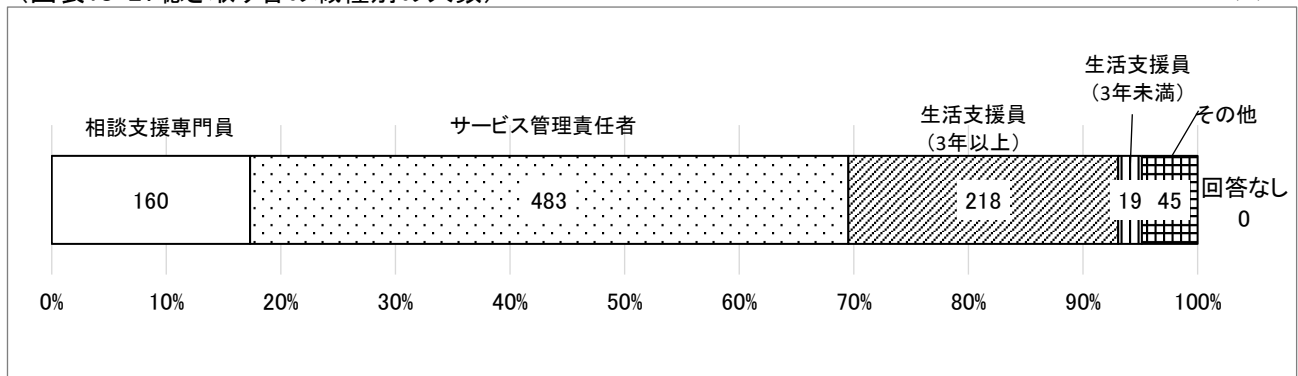
ご本人に聴き取りを行った方の職種等は、「サービス管理責任者」(483人、52.2%)が最も多く全体の半数以上を占め、次いで「生活支援員(経験年数3年以上)」(218人、23.6%)となっています。

(図表18-1:聴き取り者の職種別の人数と割合)

区分	人数	割合
入所についてのサービス等利用計画を作成している相談支援専門員	160	17.3%
サービス管理責任者	483	52.2%
生活支援員【経験年数3年以上】	218	23.6%
生活支援員【経験年数3年未満】	19	2.1%
その他	45	4.9%
回答なし	0	0.0%
合計	925	100.0%

(図表18-2:聴き取り者の職種別の人数)

N=925人



問19 意思表示の聴き取り(読み取り)の可否

この方から、言語・態度・表情等による意思表示を受けて、問20以降の聴き取りを行うことができますか。(1つだけ選択)

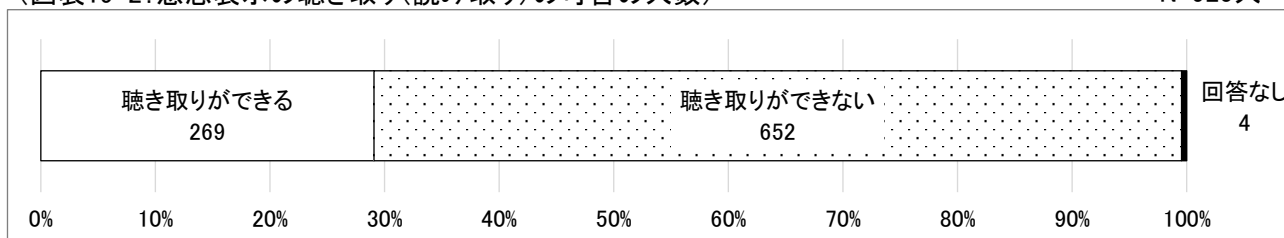
施設職員等によるご本人の意思表示の聴き取り(読み取り)の可否は、「ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが不可能」(652人、70.5%)が最も多く全体の3分の2以上を占め、「ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが可能」(269人、29.1%)を大きく上回っています。

(図表19-1: 意思表示の聴き取り(読み取り)の可否の人数と割合)

区分	人数	割合	前回調査の割合
ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが可能 (ご本人からの意思表示を読み取って、回答することができる)	269	29.1%	32.4%
ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが不可能 (ご本人からの意思表示を読み取ることができない)	652	70.5%	67.6%
回答なし	4	0.4%	0.0%
合計	925	100.0%	100.0%

(図表19-2: 意思表示の聴き取り(読み取り)の可否の人数)

N=925人



(図表19-3: 主な障害種別【問6】×「ご本人からの意思表示を受けて、聞き取りが可能」の人数と割合【クロス集計】)

区分	身体障害					知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
	肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	内部障害						
身体障害	肢体不自由	人数 95 割合 76.0%	人数 4 割合 80.0%	人数 1 割合 50.0%	人数 8 割合 72.7%	人数 45 割合 27.3%	人数 4 割合 57.1%				157 49.4%
	視覚障害	人数 4 割合 80.0%				人数 2 割合 11.8%					6 24.0%
	聴覚・平衡機能障害	人数 1 割合 50.0%		人数 1 割合 100.0%							2 13.3%
	音声・言語・そしゃく機能障害				人数 1 割合 100.0%						1 33.3%
	内部障害	人数 8 割合 72.7%			人数 4 割合 36.4%	人数 2 割合 28.6%					14 40.0%
	知的障害	人数 45 割合 27.3%	人数 2 割合 11.8%		人数 2 割合 28.6%	人数 97 割合 18.7%	人数 1 割合 33.3%	人数 2 割合 10.5%			149 20.0%
精神障害	人数 4 割合 57.1%				人数 1 割合 33.3%	人数 2 割合 50.0%				7 33.3%	
発達障害					人数 2 割合 10.5%					2 10.5%	
難病										0	
回答なし										0	
合計	人数 157 割合 49.4%	人数 6 割合 24.0%	人数 2 割合 13.3%	人数 1 割合 33.3%	人数 14 割合 40.0%	人数 149 割合 20.0%	人数 7 割合 33.3%	人数 2 割合 10.5%	人数 0	人数 0 割合 -	人数 269 割合 29.1%

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、黄色部分は、再掲となっています。
 ※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表19-4: 地域生活移行の可能性【問13】×意思表示の聴き取り(読み取り)の可否の人数と割合【クロス集計】)

N=925人

区分	可能		困難		わからない		回答なし	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが可能 (ご本人からの意思表示を読み取って、回答することができる)	84	56.8%	166	22.8%	17	36.2%	2	100.0%
ご本人からの意思表示を受けて、聴き取りが不可能 (ご本人からの意思表示を読み取ることができない)	64	43.2%	558	76.6%	30	63.8%	0	0.0%
回答なし	0	0.0%	4	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
合計	148	100.0%	728	100.0%	47	100.0%	2	100.0%

※ 割合は、地域生活移行の可能性【問13】の各区分の人数に占める割合です。

問20 地域生活移行に向けた取組の経験

あなたは、地域生活への移行に向けて、次のような取組を経験したことがありますか。（最大3つ選択）

地域生活移行に向けた取組の経験については、経験したことがある（145人、53.9%）が最も多く、次いで「わからない」（69人、25.7%）、「経験したことがない」（51人、19.0%）となっています。

経験した取組は、「地域生活に関するDVDや写真、パンフレットなどを見たことがある」（65人、44.8%）が最も多く、次いで「施設を出て、実際に地域で生活している方の話を聞いたことがある」（50人、34.5%）、「地域生活で利用できるサービスについて、説明を受けたことがある」（41人、28.3%）となっています。

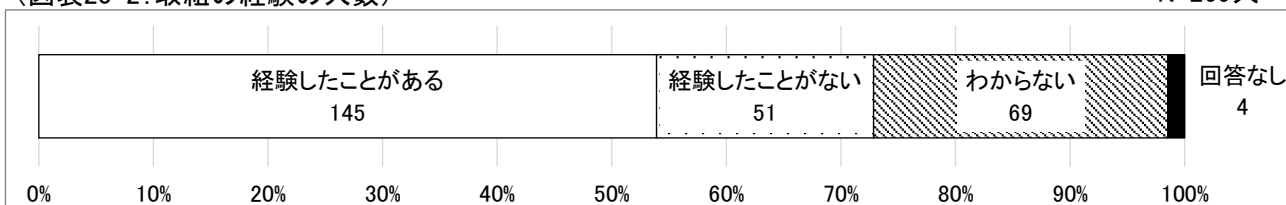
また、施設職員から見た地域生活への移行が「可能」な方は、地域生活移行に向けた取組を経験したことがある割合が高くなっています。

（図表20-1：取組の経験の人数と割合）

区分	人数	割合
経験したことがある	145	53.9%
経験したことがない	51	19.0%
わからない	69	25.7%
回答なし	4	1.5%
合計	269	100.0%

（図表20-2：取組の経験の人数）

N=269人



（図表20-3：経験した取組別の人数と割合【複数回答】）

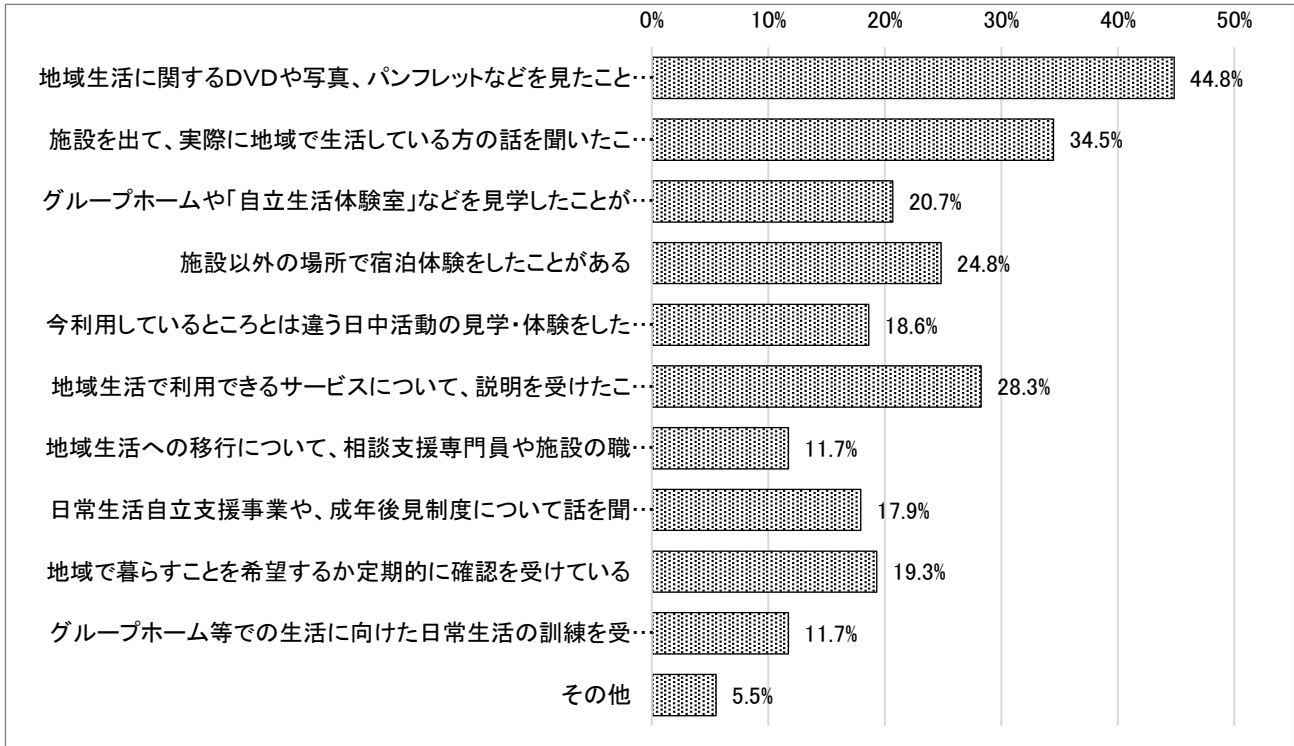
N=145人

区分	人数	割合
地域生活に関するDVDや写真、パンフレットなどを見たことがある	65	44.8%
施設を出て、実際に地域で生活している方の話を聞いたことがある	50	34.5%
グループホームや「自立生活体験室」などを見学したことがある	30	20.7%
施設以外の場所で宿泊体験をしたことがある	36	24.8%
今利用しているところとは違う日中活動の見学・体験をしたことがある	27	18.6%
地域生活で利用できるサービスについて、説明を受けたことがある	41	28.3%
地域生活への移行について、相談支援専門員や施設の職員が主催するケア会議や相談会に出席したことがある	17	11.7%
日常生活自立支援事業や、成年後見制度について話を聞いたことがある	26	17.9%
地域で暮らすことを希望するか定期的に確認を受けている	28	19.3%
グループホーム等での生活に向けた日常生活の訓練を受けたことがある	17	11.7%
その他	8	5.5%

※ 割合は、経験したことがあると回答した人数に占める割合です。

(図表20-4: 経験した取組別の割合【複数回答】)

N=145人



(図表20-5: 地域生活移行の可能性【問13】× 経験した取組の人数と割合【クロス集計】 N=269人)

区分	可能		困難		わからない		回答なし	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
経験したことがある	62	73.8%	74	44.6%	11	64.7%	2	100.0%
経験したことがない	9	10.7%	43	25.9%	3	17.6%	0	0.0%
わからない	13	15.5%	49	29.5%	3	17.6%	0	0.0%
回答なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	84	100.0%	166	100.0%	17	100.0%	2	100.0%

※ 割合は、回答があった人のうち、地域生活移行の可能性【問13】の各区分の人数に占める割合です。

問21 ご本人が希望する暮らし

あなたは、これから、どこで生活したいと思いますか？（1つだけ選択）

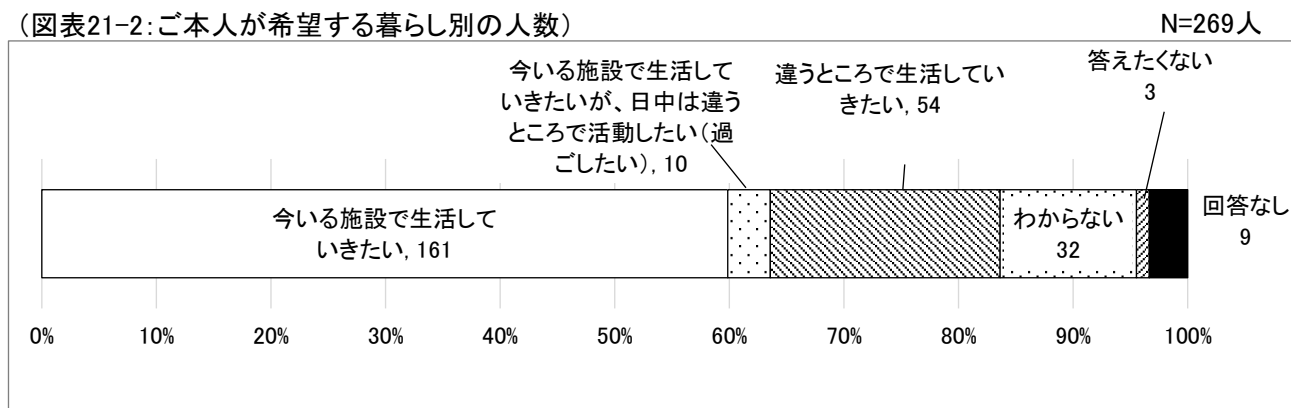
ご本人が希望する暮らしは、「今いる施設で生活していきたい」(161人、59.9%)が最も多く全体の半数以上を占め、次いで「違うところで生活していきたい」(54人、20.1%)、「わからない」(32人、11.9%)となっています。

ご本人とご家族の意向を合わせてみると、ご本人が「今いる施設で生活していきたい」・ご家族が「施設での生活を希望している」方(136人、50.6%)が最も多く全体の半数以上を占め、次いで、ご本人が「違うところで生活していきたい」・ご家族が「施設での生活を希望している」方が(35人、13.0%)となっています。

(図表21-1:ご本人が希望する暮らし別の人数と割合)

区分	人数	割合
今いる施設で生活していきたい	161	59.9%
今いる施設で生活していきたいが、日中は違うところで活動したい(過ぎしたい)	10	3.7%
違うところで生活していきたい	54	20.1%
わからない	32	11.9%
答えたくない	3	1.1%
回答なし	9	3.3%
合計	269	100.0%

(図表21-2:ご本人が希望する暮らし別の人数)



(図表21-3: 主な障害種別【問6】×「今いる施設で生活していきたい」人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害					知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	内部障害						
身体障害	肢体不自由	人数	65	3			7	30				105
		割合	52.0%	60.0%			63.6%	18.2%				33.0%
	視覚障害	人数	3					1				4
		割合	60.0%					5.9%				16.0%
	聴覚・平衡機能障害	人数										0
割合											0	
音声・言語・そしゃく機能障害	人数										0	
	割合										0	
内部障害	人数	7				3	2				12	
	割合	63.6%				27.3%	28.6%				34.3%	
知的障害	人数	30	1			2	49				82	
	割合	18.2%	5.9%			28.6%	9.5%				11.0%	
精神障害	人数							1			1	
	割合							25.0%			4.8%	
発達障害	人数										0	
	割合										0	
難病	人数										0	
	割合										0	
回答なし	人数										0	
	割合										-	
合計	人数	105	4	0	0	12	82	1	0	0	161	
	割合	33.0%	16.0%			34.3%	11.0%	4.8%			17.4%	

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、黄色部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表21-4: 主な障害種別【問6】×「違うところで生活していきたい」人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害					知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	内部障害						
身体障害	肢体不自由	人数	13	1			1	9	1			25
		割合	10.4%	20.0%			9.1%	5.5%	14.3%			7.9%
	視覚障害	人数	1									1
		割合	20.0%									4.0%
	聴覚・平衡機能障害	人数										0
割合											0.0%	
音声・言語・そしゃく機能障害	人数										0	
	割合										0.0%	
内部障害	人数	1									1	
	割合	9.1%									2.9%	
知的障害	人数	9					26	1	1		37	
	割合	5.5%					5.0%	33.3%	5.3%		5.0%	
精神障害	人数	1					1	1			3	
	割合	14.3%					33.3%	25.0%			14.3%	
発達障害	人数						1				1	
	割合						5.3%				5.3%	
難病	人数										0	
	割合										0	
回答なし	人数										0	
	割合										-	
合計	人数	25	1	0	0	1	37	3	1	0	54	
	割合	7.9%	4.0%		0.0%	2.9%	5.0%	14.3%	5.3%		5.8%	

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、黄色部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表21-5: 主な障害種別【問6】×「わからない」人数と割合【クロス集計】)

区分		身体障害					知的障害	精神障害	発達障害	難病	回答なし	計
		肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	内部障害						
身体障害	肢体不自由	人数	11				3	3				17
		割合	8.8%				1.8%	42.9%				5.3%
	視覚障害	人数										0
		割合										0.0%
	聴覚・平衡機能障害	人数			1							1
		割合			100.0%							6.7%
音声・言語・そしゃく機能障害	人数				1						1	
	割合				100.0%						33.3%	
内部障害	人数										0	
	割合											
知的障害	人数	3				12		1			16	
	割合	1.8%				2.3%		5.3%			2.1%	
精神障害	人数	3									3	
	割合	42.9%									0.0%	
発達障害	人数					1					1	
	割合					5.3%					5.3%	
難病	人数										0	
	割合											
回答なし	人数										0	
	割合										-	
合計	人数	17	0	1	1	0	16	3	1	0	32	
	割合	5.3%	0.0%	6.7%	33.3%		2.1%	0.0%	5.3%		-	3.5%

※ 太枠内は、障害種別を1つだけ選択した方です。また、 部分は、再掲となっています。

※ 割合は、主な障害種別【問6】の各区分の人数に占める割合です。

(図表21-6: 年齢別【問3】×ご本人が希望する暮らし別の人数と割合【クロス集計】)

区分		今いる施設で生活していきたい	今いる施設で生活していきたいが、日中は違うところで活動したい(過ごしたい)	違うところで生活していきたい	わからない	答えたくない	回答なし	計
～19歳	人数							0
	割合							0.0%
20歳～29歳	人数	2		3	1			6
	割合	33.3%		50.0%	16.7%			100.0%
30歳～39歳	人数	6			3	1	1	11
	割合	54.5%			27.3%	9.1%	9.1%	100.0%
40歳～49歳	人数	17	3	13	3		1	37
	割合	45.9%	8.1%	35.1%	8.1%		2.7%	100.0%
50歳～59歳	人数	42	5	13	9	1	2	72
	割合	58.3%	6.9%	18.1%	12.5%	1.4%	2.8%	100.0%
60歳～69歳	人数	50	2	19	11	1	3	86
	割合	58.1%	2.3%	22.1%	12.8%	1.2%	3.5%	100.0%
70歳～79歳	人数	32		5	5		2	44
	割合	72.7%		11.4%	11.4%		4.5%	100.0%
80歳～	人数	12		1				13
	割合	92.3%		7.7%				100.0%
合計	人数	161	10	54	32	3	9	269
	割合	59.9%	3.7%	20.1%	11.9%	1.1%	3.3%	100.0%

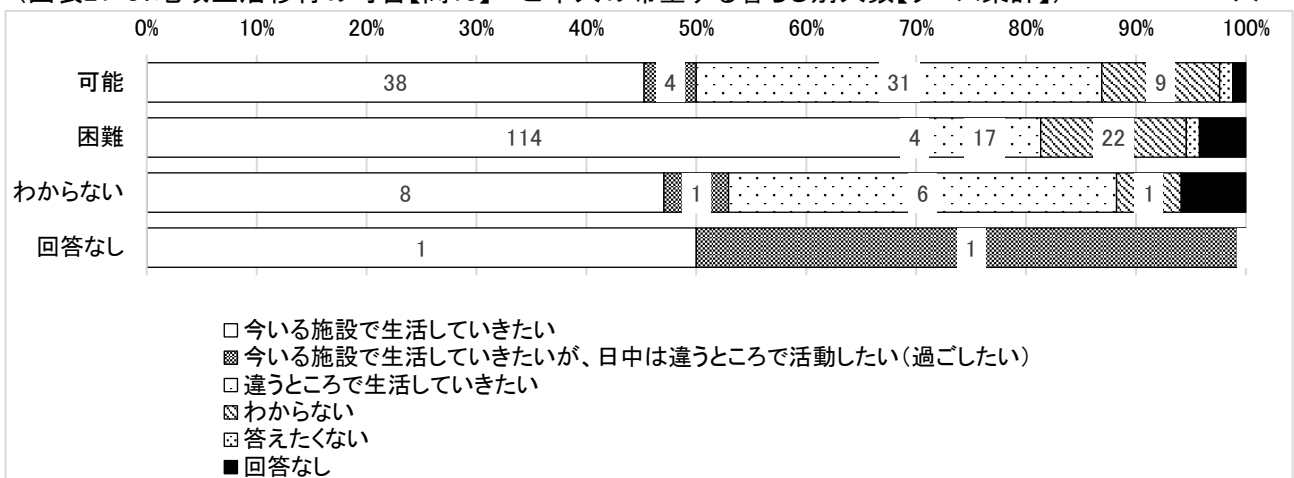
※ 割合は、年齢区分の人数に占める割合です。

(図表21-7:地域生活移行の可否【問13】×ご本人の希望する暮らし別人数と割合【クロス集計】)

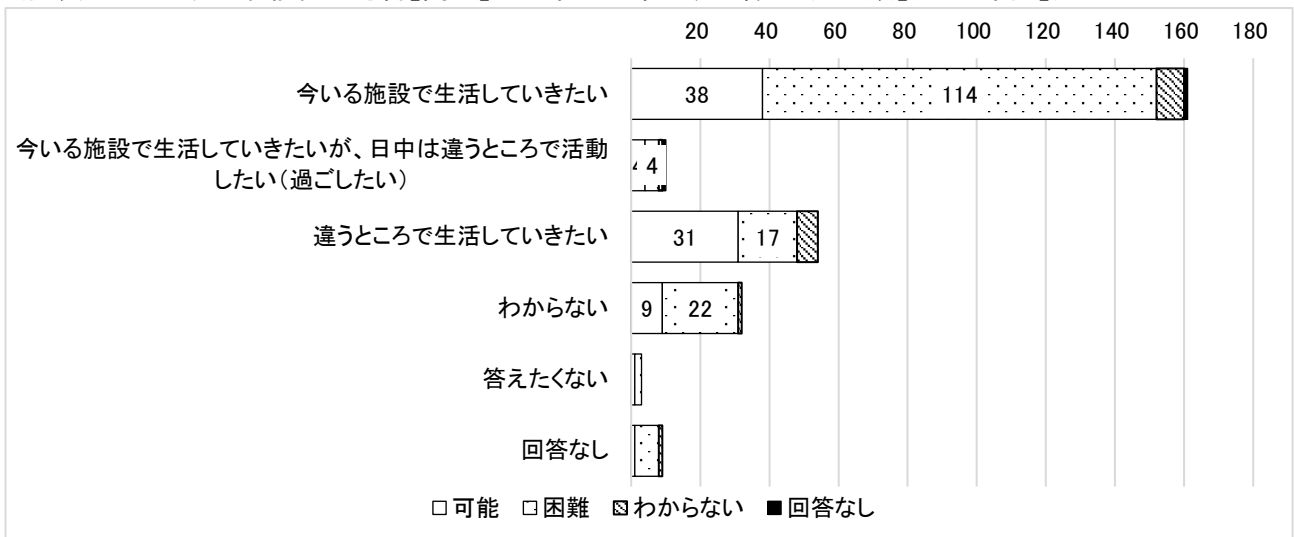
区分		可能	困難	わからない	回答なし	合計
今いる施設で生活していきたい	人数	38	114	8	1	161
	割合	45.2%	68.7%	47.1%	50.0%	59.9%
今いる施設で生活していきたいが、日中は違うところで活動したい(過ごしたい)	人数	4	4	1	1	10
	割合	4.8%	2.4%	5.9%	50.0%	3.7%
違うところで生活していきたい	人数	31	17	6		54
	割合	36.9%	10.2%	35.3%		20.1%
わからない	人数	9	22	1		32
	割合	10.7%	13.3%	5.9%		11.9%
答えたくない	人数	1	2			3
	割合	1.2%	1.2%			1.1%
回答なし	人数	1	7	1		9
	割合	1.2%	4.2%	5.9%		3.3%
合計	人数	84	166	17	2	269
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%

※ 割合は、各区分の合計に占める割合です。

(図表21-8:地域生活移行の可否【問13】×ご本人の希望する暮らし別人数【クロス集計】) N=269人



(図表21-9:地域生活移行の可否【問13】×ご本人の希望する暮らし別人数【クロス集計】) N=269人

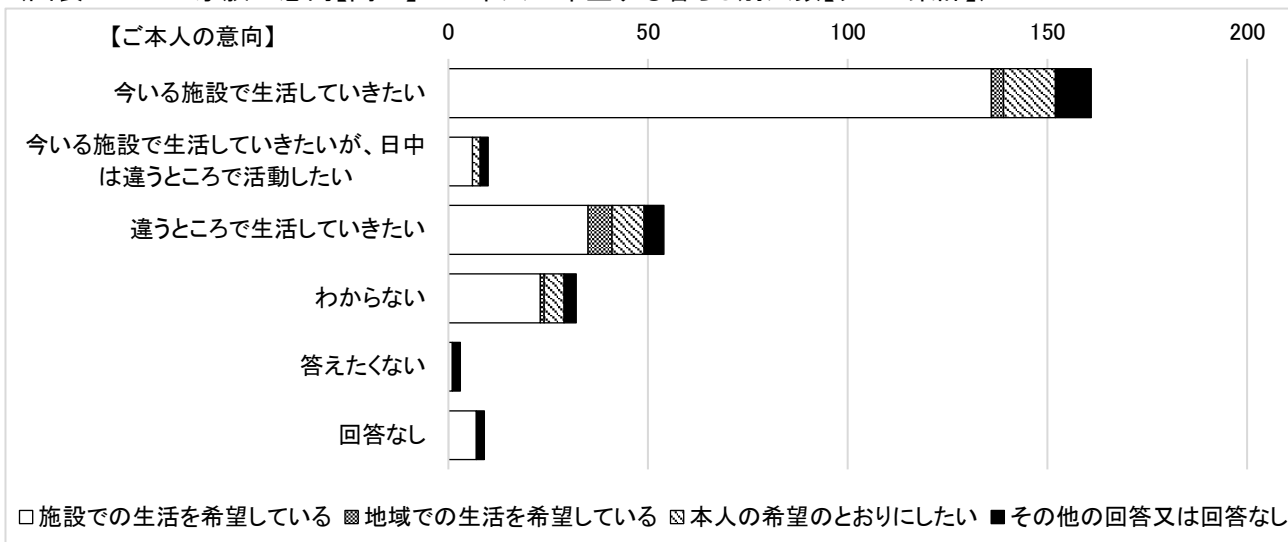


(図表21-10:ご家族の意向【問17】×ご本人の希望する暮らし別人数と割合【クロス集計】)

本人の意向	家族の意向	施設での生活を希望している	地域での生活を希望している	本人の希望のとおりにしたい	その他の回答又は回答なし	合計
		人数	割合	人数	割合	
今いる施設で生活していきたい	人数	136	3	13	9	161
	割合	50.6%	1.1%	4.8%	3.3%	59.9%
今いる施設で生活していきたいが、日中は違うところで活動したい	人数	6	0	2	2	10
	割合	2.2%	0.0%	0.7%	0.7%	3.7%
違うところで生活していきたい	人数	35	6	8	5	54
	割合	13.0%	2.2%	3.0%	1.9%	20.1%
わからない	人数	23	1	5	3	32
	割合	8.6%	0.4%	1.9%	1.1%	11.9%
答えたくない	人数	1	0	0	2	3
	割合	0.4%	0.0%	0.0%	0.7%	1.1%
回答なし	人数	7	0	0	2	9
	割合	2.6%	0.0%	0.0%	0.7%	3.3%
合計	人数	208	10	28	23	269
	割合	77.3%	3.7%	10.4%	8.6%	100.0%

(図表21-11:ご家族の意向【問17】×ご本人の希望する暮らし別人数【クロス集計】)

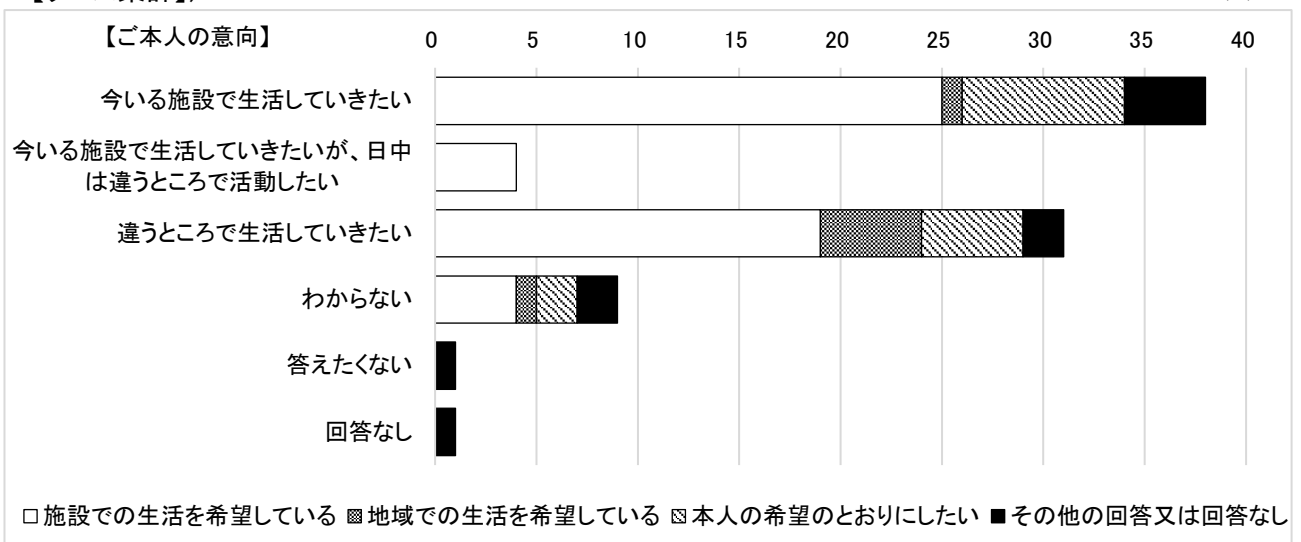
N=269人



(図表21-12: 地域生活移行が「可能」【問13】×ご家族の意向【問17】×ご本人の希望する暮らし別人数と割合【クロス集計】)

本人の意向	家族の意向	施設での生活を希望している	地域での生活を希望している	本人の希望のとおりにしたい	その他の回答又は回答なし	合計
		人数	割合	人数	割合	
今いる施設で生活していきたい	人数	25	1	8	4	38
	割合	29.8%	1.2%	9.5%	4.8%	45.2%
今いる施設で生活していきたいが、日中は違うところで活動したい	人数	4	0	0	0	4
	割合	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%
違うところで生活していきたい	人数	19	5	5	2	31
	割合	22.6%	6.0%	6.0%	2.4%	36.9%
わからない	人数	4	1	2	2	9
	割合	4.8%	1.2%	2.4%	2.4%	10.7%
答えたくない	人数	0	0	0	1	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%
回答なし	人数	0	0	0	1	1
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%
合計	人数	52	7	15	10	84
	割合	61.9%	8.3%	17.9%	11.9%	100.0%

(図表21-13: 地域生活移行が「可能」【問13】×ご家族の意向【問17】×ご本人の希望する暮らし別人数と割合【クロス集計】) N=84人



問22（問21関係）今いる施設で生活したい理由

「今いる施設で生活していきたい」のは、どうしてですか。（最大3つ選択）

「今いる施設で生活していきたい」理由は、「今いる施設が楽しい、安心だから」(112人、65.5%)が最も多く全体の半数以上を占め、次いで「他に生活する場所がないから」(65人、37.4%)となっています。

（図表22-1：施設での生活を希望する理由別の人数と割合【複数回答】）

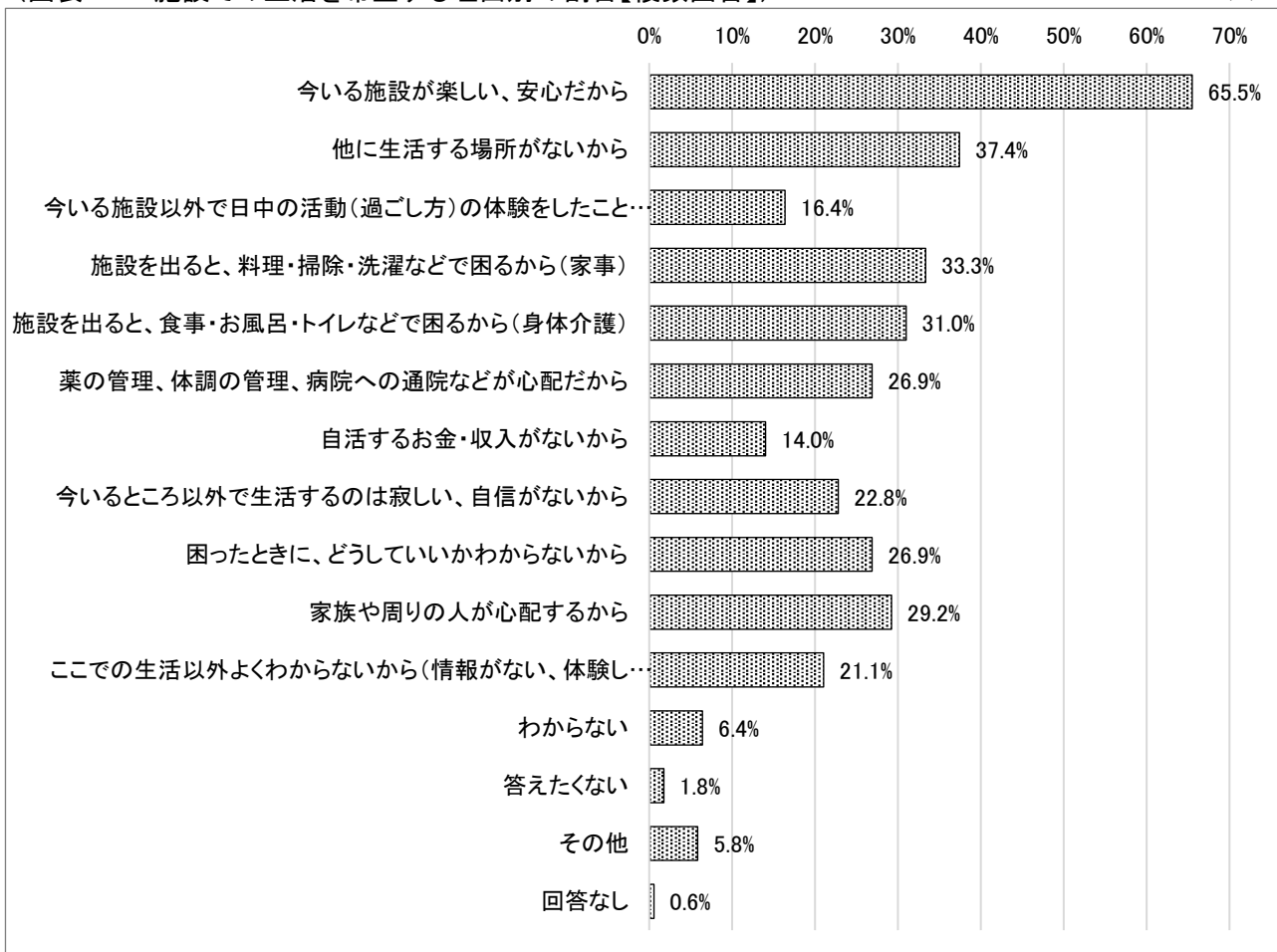
N=171人

区分	人数	割合
今いる施設が楽しい、安心だから	112	65.5%
他に生活する場所がないから	64	37.4%
今いる施設以外で日中の活動(過ごし方)の体験をしたことがないから	28	16.4%
施設を出ると、料理・掃除・洗濯などで困るから(家事)	57	33.3%
施設を出ると、食事・お風呂・トイレなどで困るから(身体介護)	53	31.0%
薬の管理、体調の管理、病院への通院などが心配だから	46	26.9%
自活するお金・収入がないから	24	14.0%
今いるところ以外で生活するのは寂しい、自信がないから	39	22.8%
困ったときに、どうしていいかわからないから	46	26.9%
家族や周りの人が心配するから	50	29.2%
ここでの生活以外よくわからないから(情報が無い、体験したことがない)	36	21.1%
わからない	11	6.4%
答えたくない	3	1.8%
その他	10	5.8%
回答なし	1	0.6%

※ 割合は、「今いる施設で生活していきたい」と回答した方【問21】に占める割合です。

（図表22-2：施設での生活を希望する理由別の割合【複数回答】）

N=171人



問23 (問21関係)希望する暮らしの具体的な種類

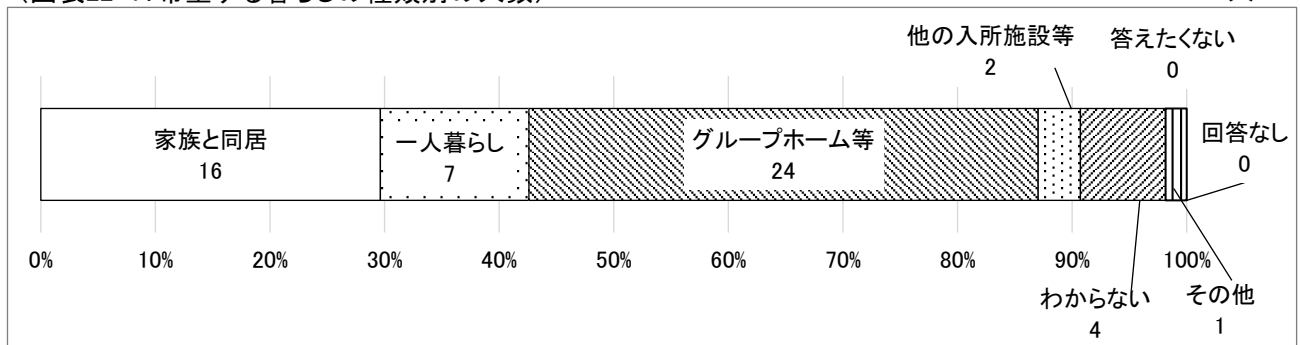
どこで生活していきたいとお考えですか。(1つ選択)

「違うところで生活していきたい」方が希望する生活場所は、「支援を受けながら少人数で共同生活を行う住宅(グループホームや福祉ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、シェアハウスなど)」(24人、44.4%)が最も多く全体の4割以上を占め、次いで「家族と同居」(16人、29.6%)となっています。

(図表22-1:希望する暮らしの種類別の人数と割合)

区分	人数	割合
家族と同居	16	29.6%
自宅やアパート、公営住宅などで一人暮らし	7	13.0%
支援を受けながら少人数で共同生活を行う住宅(グループホームや福祉ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、シェアハウスなど)	24	44.4%
他の入所施設(障害者支援施設や特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等)	2	3.7%
わからない	4	7.4%
答えたくない	0	0.0%
その他	1	1.9%
回答なし	0	0.0%
合計	54	100.0%

(図表22-1:希望する暮らしの種類別の人数)



問24 (問21関係)希望する暮らしの具体的な地域

今いる施設から出たら、どの地域で生活したいと思いますか。(1つ選択)

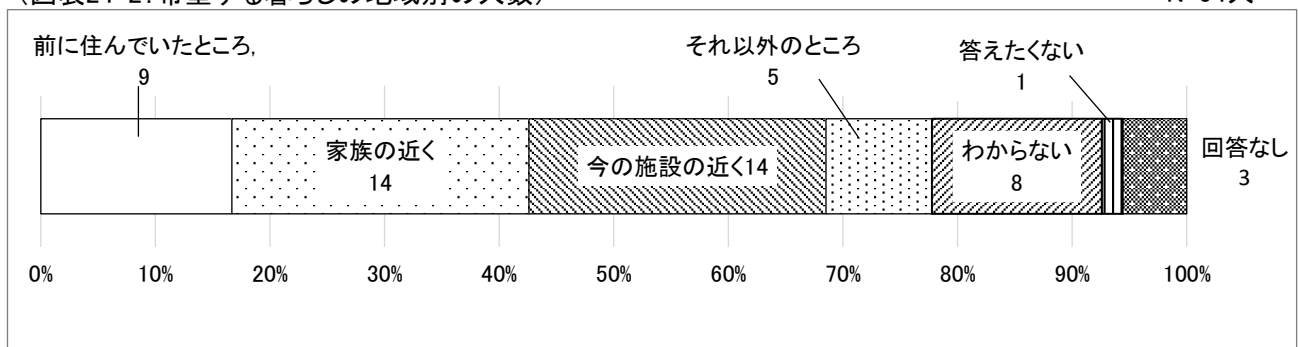
「違うところで生活していきたい」方が希望する地域は、「前に住んでいたところや家族の近く」(23人、42.6%)が最も多く、次いで「今の施設の近く」(14人、25.9%)となっています。

(図表24-1:希望する暮らしの地域別の人数と割合)

区分	割合	割合
前に住んでいたところ	9	16.7%
家族の近く	14	25.9%
今の施設の近く	14	25.9%
それ以外のところ	5	9.3%
わからない	8	14.8%
答えたくない	1	1.9%
回答なし	3	5.6%
合計	54	100.0%

(図表24-2:希望する暮らしの地域別の人数)

N=54人



問25 (問21関係)希望する暮らしがわからない理由

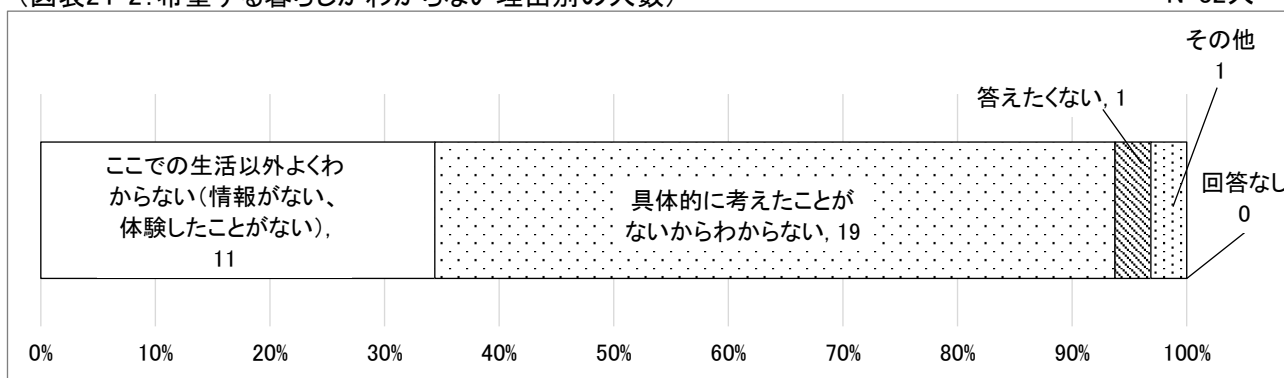
これから、どこで生活したいのかわからないのは、どうしてですか。(1つ選択)

これからどこで生活したいのかわからない理由は、「具体的に考えたことがないからわからない」(19人、59.4%)が最も多く全体の6割程度を占め、次いで「ここでの生活以外よくわからない(情報が無い、体験したことがない)」(11人、34.4%)となっています。

(図表24-1:希望する暮らしがわからない理由別の人数と割合)

区分	人数	割合
ここでの生活以外よくわからない(情報が無い、体験したことがない)	11	34.4%
具体的に考えたことがないからわからない	19	59.4%
答えたくない	1	3.1%
その他	1	3.1%
回答なし	0	0.0%
合計	32	100.0%

(図表24-2:希望する暮らしがわからない理由別の人数)



問26 自分らしい暮らしを実現するために望むこと

あなたが、安心して自分らしい暮らしを実現していくために、望むことは何ですか？（複数回答可）

安心して自分らしい暮らしを実現していくために望むことは、「自分のことを周りの人が理解してくれること」(170人、63.2%)が最も多く、次いで「お風呂やトイレに行くときに困らないこと」(142人、52.8%)、「家事(炊事・掃除・洗濯)の手助けが受けられること」(126人、46.8%)となっています。

(図表26-1:安心して自分らしい暮らしを実現していくために望むことの人数と割合【複数回答】)

N=269人

区分	人数	割合
自分のことを周りの人が理解してくれること	170	63.2%
自分の好みに合った住まいがあること	75	27.9%
お風呂やトイレに行くときに困らないこと	142	52.8%
家事(炊事・掃除・洗濯)の手助けを受けられること	126	46.8%
昼間通える場所(日中の創作活動の場など)があること	59	21.9%
自分に合った働き場所があること	41	15.2%
年金や障害者手帳の更新などの手続きの手助けを受けられること	53	19.7%
台風や地震、病気など困った時に助けてもらえること	83	30.9%
近くに通える病院があること	90	33.5%
生活するためのお金・収入を確保できること	51	19.0%
家族が近くにいること	82	30.5%
仲の良い人が近くにいること	89	33.1%
私が決めたことに寄り添い、応援し続けてくれる人がいること	91	33.8%
趣味やスポーツ、旅行、買い物などの楽しい時間を過ごせること	105	39.0%
その他	14	5.2%
回答なし	19	7.1%

(図表26-2:安心して自分らしい暮らしを実現していくために望むことの割合【複数回答】)

N=269人

